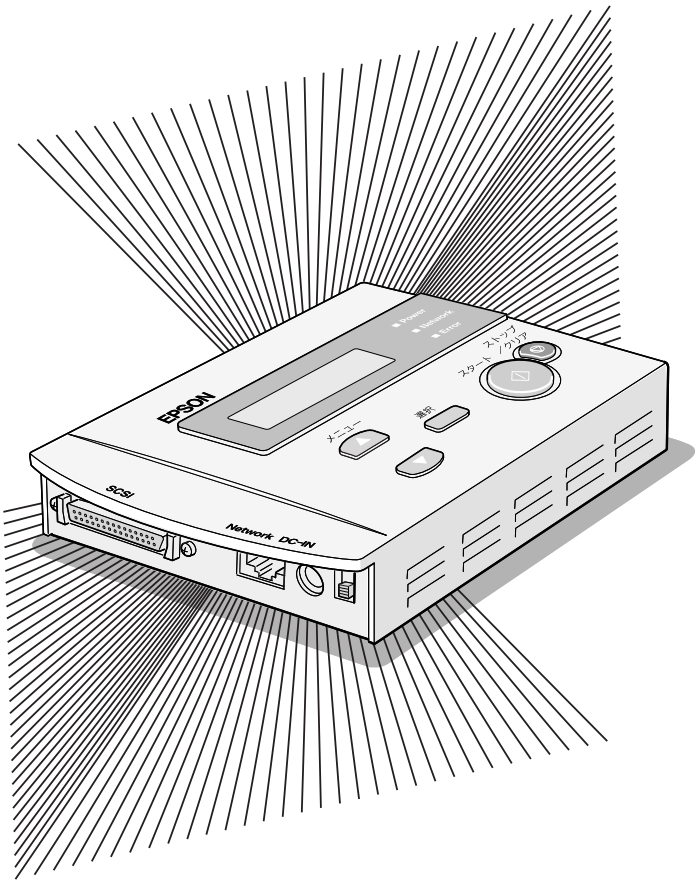
ネットワークスキャニングボックス

ESNSB1　取扱説明書

EPSON



ESNSB1の機能と仕組み

ESNSB1のセットアップ

ネットワークスキャンの仕方

サーバスキャン設定の前に(Windows)

サーバスキャン設定の前に(NetWare)

サーバスキャンの設定

サーバスキャンの仕方

困ったときは

付録

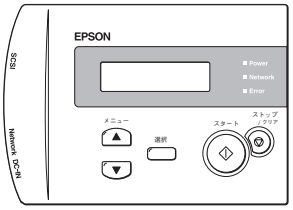
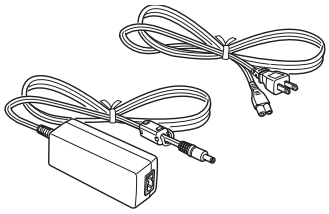
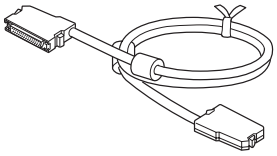
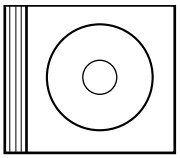
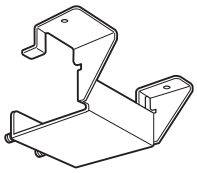
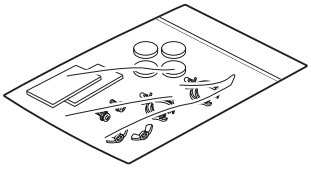
network scanner

ー本書は、製品の近くに置いてご活用くださいー

4012100-03
EK2

内容物の確認

このたびはESNSB1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
梱包を開けたら、付属品がすべてそろっていることと、ESNSB1本体、および付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、不足や不良がございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

<table>
<tr>
<td>□ ESNSB1
 
</td>
<td>□ AC アダプタ／ AC ケーブル
  </td>
</tr>
<tr>
<td>□ SCSI ケーブル
  </td>
<td>□ソフトウェア CD-ROM
  </td>
</tr>
<tr>
<td rowspan="2">□CS-3000用
スキャナスタンド取り付け金具
CS-3000 および、オプションの専用スキャナスタンドをお持ちの場合は、この金具でESNSB1を取り付けます。
  </td>
<td>□付属品パック
ゴム足×4、マジックテープ×2、ケーブル止め×2、蝶ネジ×2、取り付けネジ×2
  </td>
</tr>
<tr>
<td>□取扱説明書（本書）</td>
</tr>
<tr>
<td>□保証書
修理を依頼される時に必要です。大切に保管してください。</td>
<td>□お客様情報カード
お客様に情報やご連絡を差し上げる際に使用しますので、必ずご返送ください。</td>
</tr>
</table>

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

© セイコーエプソン株式会社　2000

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書をお読みください。また、本書は製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

本書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・お取り扱いについて、次の記号で警告表示を行っています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

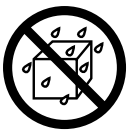
⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

また、お守りいただく内容の種類を次の絵記号で区分し、説明しています。
内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

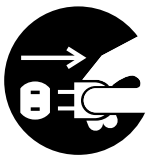
	この記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
	この記号は、分解禁止を示しています。
	この記号は、濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。
	この記号は、製品が水に濡れることの禁止を示しています。
	この記号は、電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。

もくじは8ページにあります

安全上のご注意（ESNSB1/AC アダプタ共通）

⚠警告

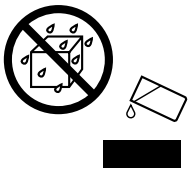
- **煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。**
  感電・火災の原因となります。
  すぐに電源コードをコンセントから抜いて、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。
  お客様による修理は危険ですから絶対しないでください。



- **（取扱説明書で指示されている以外の）分解や改造はしないでください。**
  けがや感電・火災の原因となります。

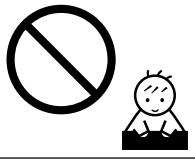
- **通風孔など開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。**
  感電・火災の原因となります。

- **異物や水などの液体が内部に入った場合は、そのまま使用しないでください。**
  感電・火災の原因となります。
  すぐに電源コードをコンセントから抜き、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

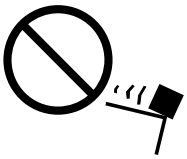


⚠注意

- **小さなお子さまの手の届く所には、設置、保管しないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



- **不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。

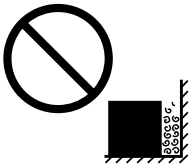


⚠注意

- **湿気やほこりの多い場所に置かないでください。**
  感電・火災のおそれがあります。

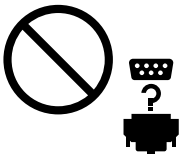
- **本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。**
  特に、小さなお子さまのいる家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがをするおそれがあります。

- **本製品の通風孔をふさがないでください。**
  通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災のおそれがあります。
  次のような場所には設置しないでください。
  ・押し入れや本箱など風通しの悪い狭いところ
  ・じゅうたんや布団の上
  ・毛布やテーブルクロスのような布をかけない
  また、壁際に設置する場合は、壁から10cm以上のすき間をあけてください。



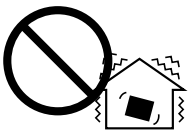
- **連休や旅行などで長期間ご使用にならない時は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**

- **各種コード（ケーブル）は、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。**
  配線を誤ると、火災のおそれがあります。



- **本製品を移動する場合は、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。**

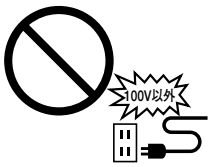
- **他の機械の振動が伝わる所など、振動しがちな場所には置かないでください。**
  落ちたり、倒れたりして、けがをするおそれがあります。



安全上のご注意（AC アダプタ）

⚠警告

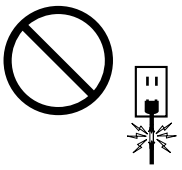
- **表示されている電源（AC100ボルト）以外は使用しないでください。**
  指定外の電源を使うと、感電・火災の原因となります。



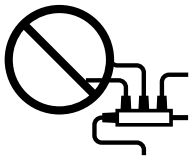
- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。**
  感電の原因となります。

- **破損した電源コードを使用しないでください。感電・火災の原因となります。**
  電源コードを取り扱う際は、次の点を守ってください。
  - ・電源コードを加工しない
  - ・電源コードの上に重いものを乗せない
  - ・無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
  - ・熱器具の近くに配線しない

  電源コードが破損したら、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。



- **電源コードのたこ足配線はしないでください。**
  発熱し火災の原因となります。
  家庭用電源コンセント（AC100ボルト）から電源を直接取ってください。



- **電源プラグの取り扱いには注意してください。**
  取り扱いを誤ると火災の原因となります。
  電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
  - ・電源プラグはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない
  - ・電源プラグは刃の根元まで確実に差し込む

⚠注意

- 本製品は、指定された機器以外の製品、あるいは他の用途には使用しないでください。
  指定製品以外に接続して使用した場合、接続した製品が発煙や発火など危険な状態になる可能性がありますので、ご注意ください。
- ACアダプタを布団などで覆った状態で使用しないでください。
- 雷が鳴っている時は、すみやかに電源コードをコンセントから抜いてください。
- ご使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電圧変動や電気的なノイズを発生する機器(大型モーターを使っている機器)などから離れたコンセントをご使用ください。
- ACアダプタには電源スイッチがありません。万一接続機器側で異常が発生した場合は、すぐに電源コードを抜いて、お買い求めの販売店、またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。
- 電源コードは、コネクタ部を持って取り外してください。
- 電源コードが伸びきった状態では使用しないでください。
- 電源コードでACアダプタを吊り下げないでください。
- 電源コードやACアダプタのコネクタに、クリップなどの金属性のものを接触させないでください。
- テーブルタップや延長コードは使用しないでください。
- 本製品が汚れた時は、乾燥した布または水をつけて固くしぼった布でふき取ってください。この際、電源コードをコンセントから取り外してください。
- シンナー、ベンジン、またはアルコールなどでクリーニングしないでください。

もくじ

内容物の確認 ..... 巻頭

● 安全にお使いいただくために 3

安全上のご注意（ESNSB1/ACアダプタ共通） 4

安全上のご注意（ACアダプタ） 6

● 各部の名称とはたらき 10

● 本文中のマークと表記について .. 11

● PDF版取扱説明書のご案内 12

ESNSB1の機能と仕組み

● ネットワークスキャン機能 14

ネットワークスキャンの仕組み 14

ネットワークスキャンの動作環境 15

● サーバスキャン機能 17

サーバスキャンの概要 17

サーバスキャンを行うためのネットワーク構成 18

サーバスキャンの動作環境 20

● 画像データ容量について 22

ESNSB1のセットアップ

● 設置上のご注意 24

● ESNSB1の接続と設定 25

スキャナの準備 25

スキャナとネットワークへの接続 26

ACアダプタの接続 29

ネットワーク設定 31

● 専用スキャナスタンドへの取り付け方 37

ネットワークスキャンの仕方

● ネットワークスキャンの準備 42

クライアントPCのTCP/IP設定 42

ソフトウェアのインストール 42

● ネットワークスキャンの仕方 44

スキャナとESNSB1の準備 44

画像の取り込み 44

サーバスキャン設定の前に（Windows）

● 設定の流れ 46

● ネットワーク設定 47

● 共有フォルダの作成 49

サーバスキャン設定の前に（NetWare）

● 設定の流れ 54

● Novell Clientのインストール 55

● ファイルサーバへのユーザー登録 56

NetWare3.xJ 56

NetWare4.xJ/5.xJ、IntranetWare-J 57

● 共有フォルダについて 59

サーバスキャンの設定

● 設定の流れ 62
● ソフトウェアのインストール 63
EPSON Server Scan Agentの
インストール 63
EPSON Scan Editorの
インストール 65
● サーバスキャンの新規設定 67
● サーバスキャンの
設定変更と削除 77
ネットワークスキャニングボックスの
情報変更と削除 77
ユーザー情報の変更と削除 79

サーバスキャンの仕方

● プロファイルの作成 82
● サーバスキャンの仕方 90
サーバスキャンの実行 91
サーバスキャンしたデータの開き方 98

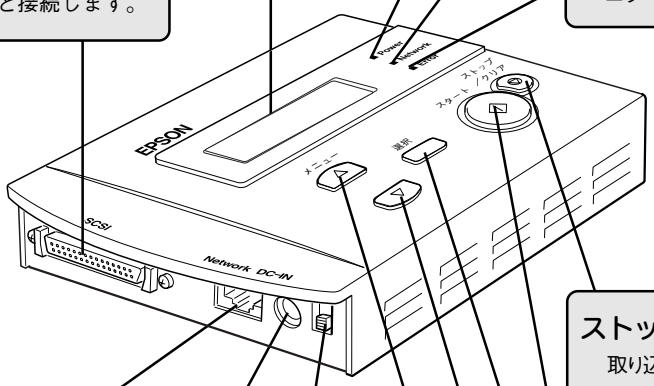
困ったときは

● トラブルが発生したら 100
● ESNSB1本体のトラブル 102
エラーメッセージ 102
ランプ表示 103
ACアダプタを接続しても
電源が入らない 103
ESNSB1がネットワークで
認識されない 104
漏洩電流について 104
● サーバスキャンのトラブル 105
サーバスキャン設定時のエラー 105
プロファイル作成時のエラー 106
サーバスキャン実行時のトラブル 106
● パスワードを忘れた時
の対処方法 109
● ソフトウェアの再インストール 110
ソフトウェアの削除 110
最新のソフトウェア入手方法 111
● サポートのご案内 112
エプソンFAXインフォメーション 112
エプソンインフォメーションセンター 112
インターネットサービス 112
パソコンスクール 113
保守サービスのご案内 113

付録

● arpコマンドでの
IPアドレス設定 116
● Webブラウザでの
ネットワーク設定 119
● パネル上でのネットワーク
設定確認方法 127
● インストールによって
登録される内容 129
● 基本仕様 130
● 用語解説 131
英数字 131
アイウエオ 134
● 索引 137
英数字 137
アイウエオ 137

各部の名称とはたらき



LCD パネル
本機またはスキャナの状態／各種メニュー／エラーメッセージなどを表示します。

SCSI コネクタ
付属の SCSI ケーブルでスキャナと接続します。

モジュラージャック
Ethernet ケーブルを接続します。

インレット
付属の AC アダプタを接続します。

電源連動切替スイッチ
電源のオン／オフを、スキャナの電源オン／オフに連動させるかどうかを設定します。

Power ランプ
本機およびスキャナが取り込み動作可能な時に点灯します。

Network ランプ
ネットワーク経由でデータをやり取りする時に点滅します。

Error ランプ
エラー発生時に点滅します。

ストップ／クリアボタン
取り込み中止／ネットワーク接続の切断／メニューのクリアを行います。

スタートボタン
取り込みを開始します。

選択ボタン
メニュー選択を確定します。

▼ボタン
メニューを選択（下方向移動）します。

メニューボタン（兼▲ボタン）
メニュー画面の呼び出し／メニューを選択（上方向移動）します。

本文中のマークと表記について

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。
必ずお読みください。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、機器本体が損傷する可能性が想定される内容を示しています。

お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと（操作）を記載しています。必ずお読みください。

商標等の表記

Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版
Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版
Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版
の表記について

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows2000、Windows Me、Windows XP を総称する場合は［Windows］、複数の Windows を併記する場合は［Windows95/NT］のように、Windows の表記を省略することがあります。

Novell は米国ノベル社の登録商標です。
NetWare、IntranetWare は米国ノベル社の米国での登録商標です。
PC-9801/9821 シリーズおよび PC98-NX シリーズは日本電気株式会社の商標です。
IBM PC、DOS/V、IBM は International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。
Apple の名称、ロゴ、Macintosh、PowerMacintosh、Mac、iMac、Power Book、漢字 Talk、AppleTalk、LocalTalk、EtherTalk、ColorSync、Open Transport および TrueType は Apple Computer,Inc. の商標または登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNT および Internet Explorer は米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
Intel, Pentium は Intel Corporation の登録商標です。
そのほかの製品名は各社の商標または登録商標です。
"This product Includes software developed by the University of California, Berkeley, and Its contributors."

PDF 版取扱説明書のご案内

付属のソフトウェアCD-ROMに、本書のPDF（Portable Document Format）版が収録されています。

PDF の開き方

ソフトウェアCD-ROMをセットすると次の画面が自動的に表示されますので、［PDFマニュアルの表示］をダブルクリックしてください。

次に表示される画面で［表示］ボタンをクリックすると、PDF マニュアルが表示されます。
この時、コンピュータにAcrobat Reader 4.0がインストールされていない場合は、Acrobat Reader 4.0のインストーラが起動しますので、画面の指示に従ってインストールしてください。

ESNSB1 の機能と仕組み

ここでは、ESNSB1 の機能と、その仕組みや動作環境について説明しています。

● ネットワークスキャン機能 P.14
● サーバスキャン機能 P.17
● 画像データ容量について P.22

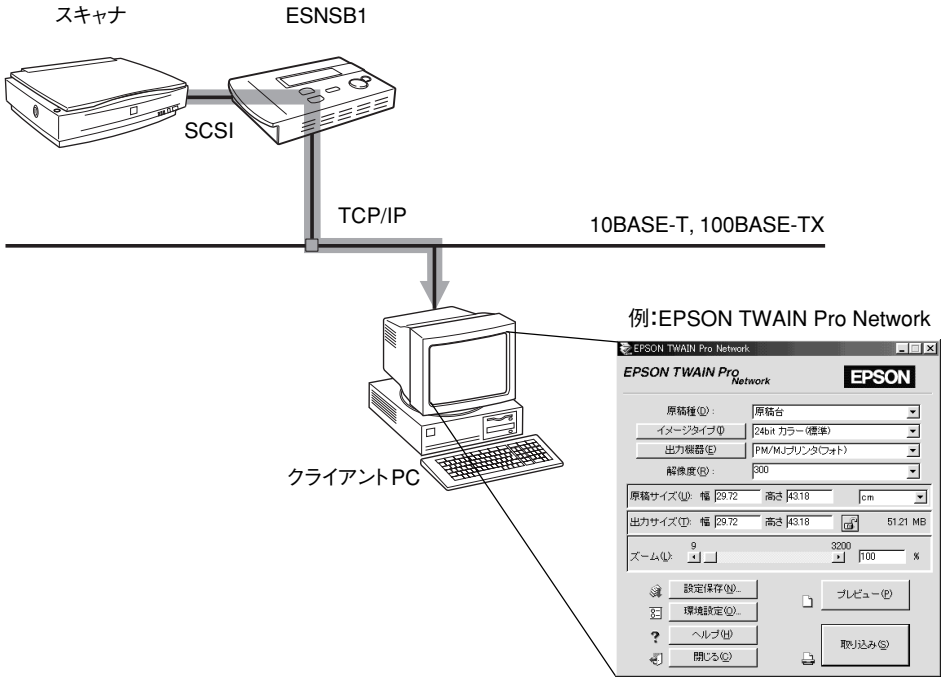
ネットワークスキャン機能

ネットワークスキャンの仕組みと動作環境について説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

ネットワークスキャンの仕組み

ESNSB1を、スキャナおよびネットワークに接続します。
スキャナを利用したいPCには次のソフトウェアをインストールし、これらを使用して画像を取り込みます。

- スキャナに付属している［EPSON TWAIN Pro Network］または［EPSON TWAIN HS Network］
- スキャナに付属している［EPSON Scan to File］または市販の［TWAIN対応アプリケーション］



既にネットワーク環境を構築済みの場合は、前記のソフトウェアをインストールするだけでご利用いただけます。またネットワーク環境が未構築の場合でも、サーバ専用機の導入などの複雑な作業は必要ありませんので、比較的簡単に導入いただけます（ただしTCP/IPの設定などが必要になります。詳細は42ページをご覧ください）。

ポイント

- **スキャナを利用するPCの表記について**
  本書では、クライアントPCと表記します。
- **EPSON TWAIN Pro NetworkとEPSON TWAIN HS Networkの表記について**
  本書では、EPSON TWAIN Pro NetworkとEPSON TWAIN HS Networkを総称する場合、EPSON TWAIN xx Networkと表記します。
  また、EPSON TWAIN Pro Networkと明記している場合は、EPSON TWAIN Pro Networkに限定した説明です。

ネットワークスキャンの動作環境

対応スキャナ

EPSON ES シリーズのスキャナ

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ESNSB1 とクライアント PC（EPSON TWAIN xx Network）は TCP/IP プロトコルで通信するため、双方に IP アドレスが必要です。
  （ESNSB1 は、RARP・BOOTP・DHCP に対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用すると IP アドレスが自動的に割り当てられるため、クライアント PC で EPSON TWAIN xx Network を使用する際、ESNSB1 に割り当てられた IP アドレスを都度指定し直す必要があります。IP アドレスが頻繁に変わると不便ですので、ESNSB1 は IP アドレスを自動取得せず、個別に設定することをお勧めします）
- ESNSB1 は 10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100BASE-TX の高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
  なお、100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、膨大な量のデータがネットワーク上を流れます（22 ページ参照）。必要に応じて、スキャナを共有する PC のセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。
- ESNSB1（スキャナ）とクライアント PC は、同一セグメント内での使用をお勧めします。（セグメントを越えて利用することもできますが、ネットワーク環境やデータ容量によってはネットワークの負荷が増加し、不具合が起こる可能性があります）

EPSON TWAIN xx Network

EPSON TWAIN xx Network は、スキャナに付属しているものをお使いください。スキャナによって、EPSON TWAIN Pro Network が付属しているものと、EPSON TWAIN HS Network が付属しているものがあります。

EPSON TWAIN Pro Networkの対応レビジョン：Rev.1.7a 以降

スキャナに付属のCD-ROMに、収録されているEPSON TWAIN Pro Networkのレビジョンが次のように記載されています。X.XX の部分がレビジョンを示します。

EPSON TWAIN Pro Network
Rev.X.XX（Win）
Rev.X.XX（Mac）

1.7a より前のレビジョンが付属している場合は、111 ページを参照してEPSON TWAIN Pro Network の最新版を入手してください。

EPSON TWAIN HS Networkの対応レビジョン

レビジョンの制限はありません。

EPSON TWAIN xx Networkの動作環境については、スキャナに付属のネットワークガイド［動作環境］をご覧ください。

サーバスキャン機能

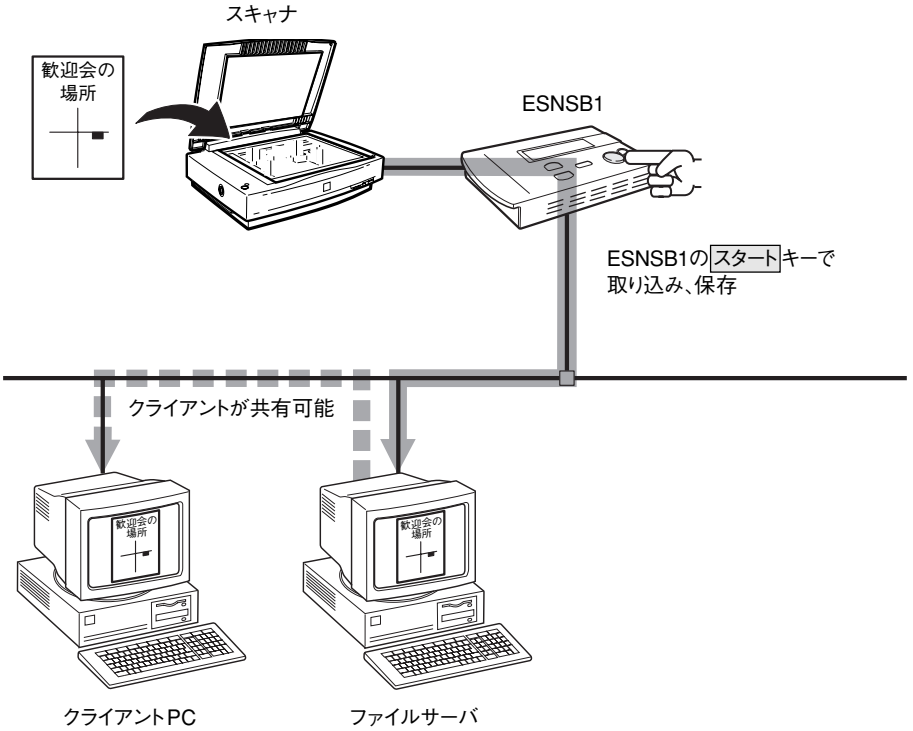
サーバスキャンの仕組みと動作環境について説明します。仕組みをご理解いただいた上で、準備作業に進んでください。

サーバスキャンの概要

ESNSB1の スタート キーを押すだけで画像を取り込み、ファイルサーバに保存する機能です。EPSON TWAIN xx Network を使用しないため、

- 原稿を簡単な操作でデータ化し、自動的に保存できます。またネットワーク上での共有が可能です。 特に文書を電子ファイル化する作業に向いています。
- プロファイル（取り込み設定ファイル）を前もって作成しておく必要があります。
- 画質は自動調整機能に依存します。 また、透過原稿ユニットは使用できません。写真の取り込みで狙い通りの画質を得たい場合や、透過原稿ユニットを使用してフィルムを取り込みたい場合は、EPSON TWAIN xx Network を使用して取り込んでください（フィルムの取り込みは、EPSON TWAIN Pro Network のみ可能です）。

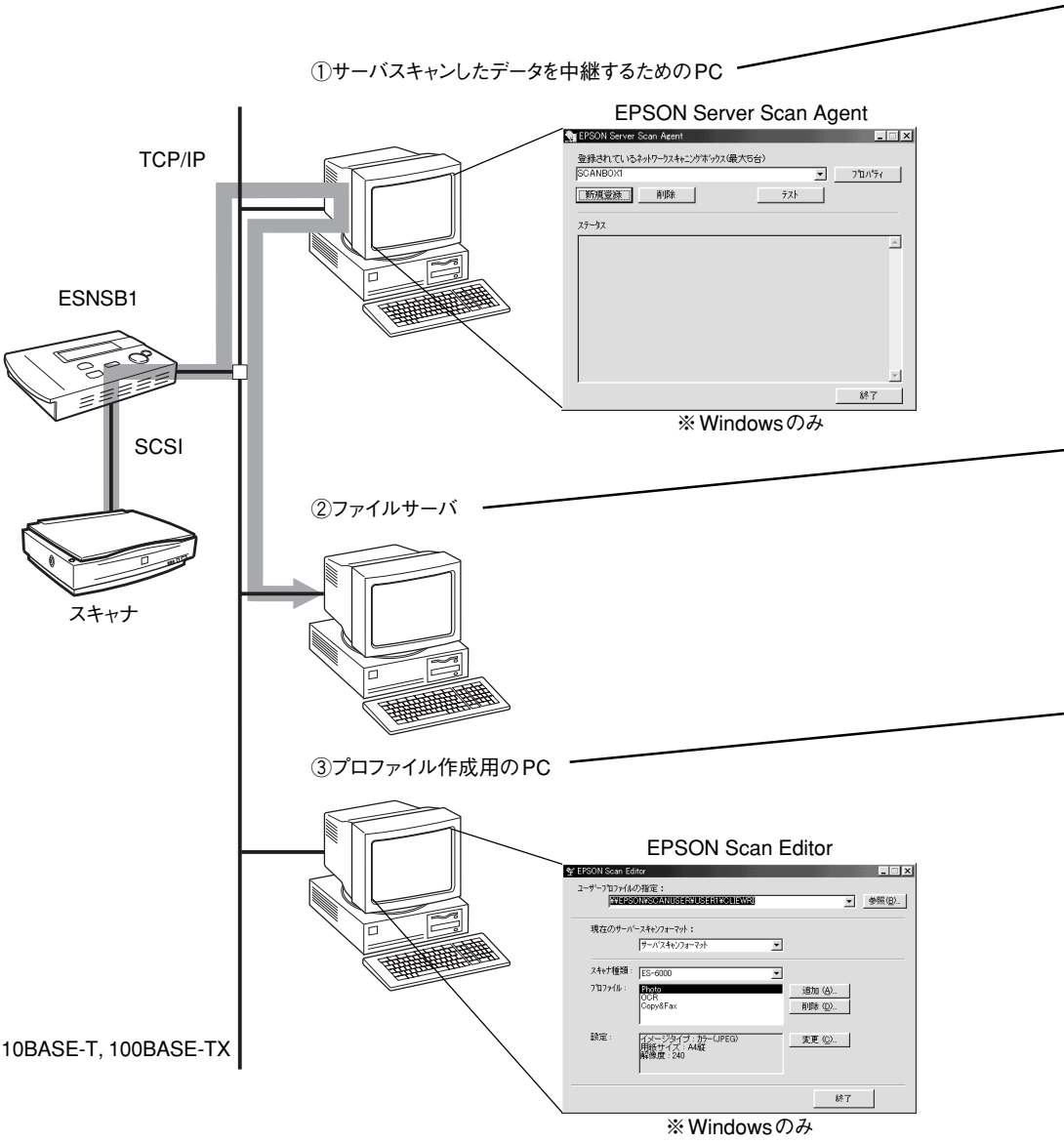
詳しい仕組みや動作環境については、次ページ以降で説明しています。



サーバスキャンを行うためのネットワーク構成

サーバスキャンを行うには、次の機器をESNSB1（スキャナ）と同一セグメント上に構成する必要があります。

①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC
②ファイルサーバ
③プロファイル作成用のPC（クライアントPC）



①サーバスキャンしたデータを中継するためのPC

サーバスキャンしたデータの中継に利用します。このPCには、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Server Scan Agent］をインストールします。

※本書では、このPCのことを［ServerScan PC］と呼びます。

- EPSON Server Scan Agentは、Windows専用のソフトウェアです。
- ファイルサーバのOSがNetWareの場合は、Novell Clientをインストールする必要があります。詳しくは55ページをご覧ください。
- ファイルサーバのOSがWindowsの場合は、ファイルサーバと同一のPCでも構いません。
  なお、同一のPCにすると、次のメリットがあります。
  ・ネットワーク構成を簡略化できますので、取り込み速度が速くなります。また、ネットワークの負荷が軽くなります。
  ・サーバスキャン設定時および実行時は、ファイルサーバ／ServerScan PCの両方がネットワークにログオン（参加）していないと、設定不可またはエラーになります。同一のPCであれば、このような問題は起こりません。

ファイルサーバのOSがWindowsの場合は、同一のPCでもOK。

②ファイルサーバ

取り込んだ画像を保存するためのサーバです。対応OSについては次ページをご覧ください。

③プロファイル作成用のPC（クライアントPC）

プロファイルの作成に利用します。プロファイルとは、原稿サイズ・色数・解像度などの取り込み設定や、保存先のフォルダ・ファイル形式などを記述しておくファイルのことです。

このPCには、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。

サーバスキャンでは、EPSON Scan Editorで作成したプロファイルの内容に従って画像の取り込み・保存が実行されます。

- EPSON Scan Editorは、Windows専用のソフトウェアです。
- ファイルサーバのOSがNetWareの場合は、Novell Clientをインストールする必要があります。詳しくは55ページをご覧ください。
- プロファイルはサーバスキャンを利用するユーザーそれぞれの意図によって作り分けるものです。そのため、このソフトウェアは各ユーザーのPC（クライアントPC）にインストールしてください。
  なお、サーバスキャン実行時はプロファイルが必要なため、プロファイルは自動的に②ファイルサーバに保存されます。

サーバスキャンの動作環境

対応スキャナ

EPSON ES シリーズのスキャナ

ネットワーク環境

ネットワーク環境の説明については、ネットワーク管理者の方がお読みください。

- ESNSB1、ServerScan PC および EPSON Scan Editor を実行する PC は TCP/IP プロトコルで通信するため、それぞれに IP アドレスが必要です。
  （ESNSB1 は、RARP・BOOTP・DHCP に対応しています。ただし、これらのプロトコルを使用するとIPアドレスが自動的に割り当てられるため、ESNSB1に割り当てられたIPアドレスをServerScan PC側で都度設定し直す必要があります。IP アドレスが頻繁に変わると不便ですので、ESNSB1 は IP アドレスを自動取得せず、個別に設定してください）
- ESNSB1 は 10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動切替ですので、どちらの形態でも接続可能です。しかしネットワークが高速であるほど画像取り込みが高速になるため、100BASE-TX の高速ネットワークおよび、ネットワーク負荷の軽い環境での使用をお勧めします。
  なお、100BASE-TX 専用 HUB を使用する場合は、接続されるすべての機器が 100BASE-TX 対応であることを確認してください。
- 高解像度の画像データを取り込むと、画像データは膨大な容量になります（22 ページ参照）。ファイルサーバのハードディスク空き容量にご注意ください。
  また、必要に応じて、スキャナを共有する PC のセグメントを他のセグメントと分けるなど、スキャナの使用頻度やデータ容量に合わせたネットワーク環境にしておいてください。
- ESNSB1（スキャナ）、ファイルサーバ、ServerScan PC および EPSON Scan Editor を実行する PC は、同一セグメント内に構成してください。セグメントを越えて利用することはできません。

ファイルサーバの対応 OS

対応 OS	プロトコル
Windows95/98/Me、NT4.0 Server/Workstation、2000 Server/Professional、XP Professional/Home Edition	TCP/IP
NetWare 3.12J/3.2J、4.1J/4.11J（IntranetWare）/4.2J	IPX
NetWare 5J/5.1J	TCP/IP、IPX

EPSON Server Scan Agent（ServerScan PC）

Windows 専用のソフトウェアです。動作環境は次の通りです。

CPU	Intel Pentium 以上
OS*1	Windows95/98/Me、NT4.0 Server/Workstation（サービスパック 3 以上）、2000 Server/Professional、XP Professional/Home Edition ※ファイルサーバの OS が NetWare の場合、Novell Client が対応していない OS では使用できません。
表示	解像度：640 × 480 ドット以上 色　数：256 色以上
メモリ	サーバスキャン実行時、一時的にServerScan PCのメモリを使用します（データが通過するのみで、蓄積はされません）。画像データ容量にもよりますが、メモリ容量は多いほど有利なため64MB以上を推奨します。
ハードディスク	基本的に使用しませんが、メモリ容量が少ない場合は一時的に使用される場合があります。
プロトコル	TCP/IP プロトコルが組み込まれ、IP アドレスが設定されていること。
ネットワークボード	PC メーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること。
ネットワークコンポーネント	ファイルサーバの OS が NetWare の場合は、Novell Client がインストールされていること（55 ページ参照）。

EPSON Scan Editor（クライアント PC）

Windows 専用のソフトウェアです。動作環境は次の通りです。

CPU	Intel Pentium 以上
OS*1	Windows95/98/Me、NT4.0 Workstation、2000 Professional、XP Home Edition ※ファイルサーバの OS が NetWare の場合、Novell Client が対応していない OS では使用できません。
表示	解像度：640 × 480 ドット以上 色　数：256 色以上
メモリ	16MB 以上
プロトコル	TCP/IP プロトコルが組み込まれ、IP アドレスが設定されていること。
ネットワークボード	PC メーカーによって保証されたネットワークボード、ドライバを使用すること。
ネットワークコンポーネント	ファイルサーバの OS が NetWare の場合は、Novell Client がインストールされていること（55 ページ参照）。

画像データ容量について

画像取り込み時の解像度などの設定によっては、膨大な量のデータがネットワーク上を流れてしまいます。そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切な解像度で取り込んでください。解像度設定の目安は次の通りです。

取り込む画像の用途	解像度	容量の目安（非圧縮）
ディスプレイ表示用途のみ	72dpi	1,024 × 768 ドット、 24bit カラーで約 2.2MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのファイン印刷	150dpi	A4、24bit カラーで約 6.1MB
EPSON カラーインクジェットプリンタでのフォト／スーパーファイン印刷	300dpi	A4、24bit カラーで約 24.5MB
カラーレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、24bit カラーで約 11MB
モノクロレーザープリンタでの印刷	200dpi	A4、8bit グレーで約 3.7MB
文字原稿の認識（OCR）	400dpi	A4、モノクロで約 1.8MB

備考／ご注意

- 解像度が２倍になると、容量は約４倍になります。また原稿サイズが２倍になると、容量は約２倍になります。
- 取り込む画像の容量の目安は、EPSON TWAIN xx Network の［出力サイズ］または［原稿サイズ］項目で確認することができます。
- ハードディスクには、最低でも取り込む画像データ容量の２倍以上の空き容量がないと、取り込むことはできません。
- スキャナの機種によっては 24bit を越える階調での取り込みができますが、24bit を越える階調のデータは、24bit データの２倍の容量になります。そのため、不必要に 24bit を越える階調で取り込まないでください。
- 大きな画像データを取り込む必要がある場合は、ネットワークユーザー数（ネットワークの負荷）が少ない時に行うなどの配慮をしてください。

ESNSB1 のセットアップ

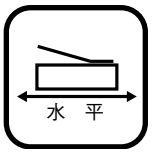
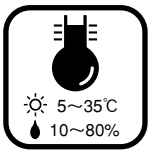
ここでは、ESNSB1 のセットアップ手順を説明しています。

● 設置上のご注意 P.24
● ESNSB1 の接続と設定 P.25
● 専用スキャナスタンドへの取り付け方 P.37

設置上のご注意

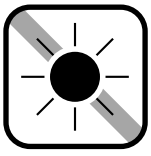
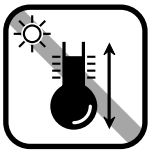
注 意

本機は、次のような場所に設置してください。

水平で安定した場所	風通しの良い場所	次の気温と湿度の場所
		

注 意

本機は精密な機械･電子部品で作られています。次のような場所に設置すると動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。

直射日光の当たる場所	ほこりや塵の多い場所	温度変化の激しい場所
		
湿度変化の激しい場所	**火気のある場所**	**水に濡れやすい場所**
揮発性物質のある場所	**冷暖房器具に近い場所**	**震動のある場所**

注 意

- テレビ･ラジオに近い場所には設置しないでください。本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。

- 静電気の発生しやすい場所でお使いになる時は、静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

ESNSB1 の接続と設定

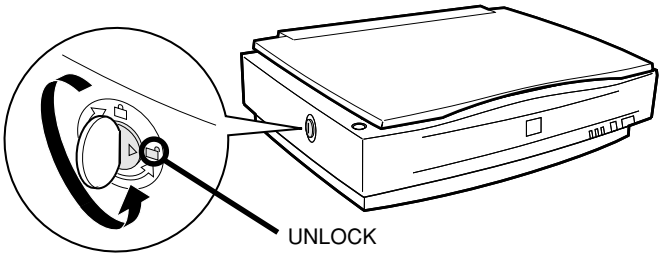
スキャナの準備

スキャナをESNSB1と接続する前に、次の作業を行ってください。

スキャナを既に使用している場合、この作業は不要です。次ページに進んでください。

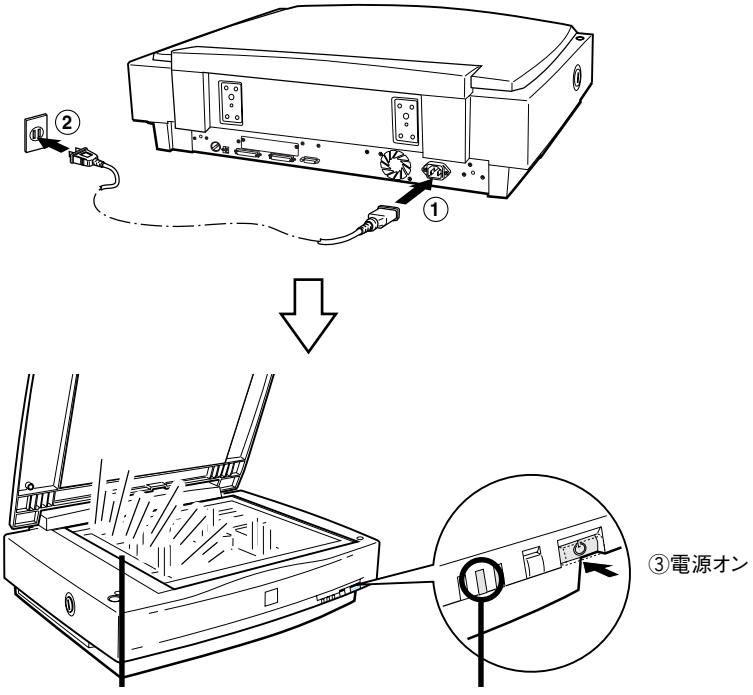
1 輸送用固定ノブまたはレバーを解除

図はES-6000HSの例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



2 電源を接続し、スキャナ単体での動作を確認

図はES-6000HSの例です。詳しい手順については、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



スキャナとネットワークへの接続

ES-8000 をお使いの方へ

本製品に付属しているSCSIケーブルは、50ピン高密度ピンタイプ×50ピン高密度ピンタイプ（シールド型）です。ES-8000のSCSIコネクタはアンフェノール50ピン（フルピッチ）ですので、付属のSCSIケーブルで接続するには変換コネクタが必要です。別途お買い求めください。

推奨変換コネクタ：Logitec 社製　LCN-C50A50

コピーシステムと組み合わせてお使いの方へ

CS-3000 をお持ちの方へ

CS-3000をお持ちで、専用スキャナスタンドをお使いの場合は、37ページを参照して、ESNSB1をスキャナスタンドに取り付けてください。

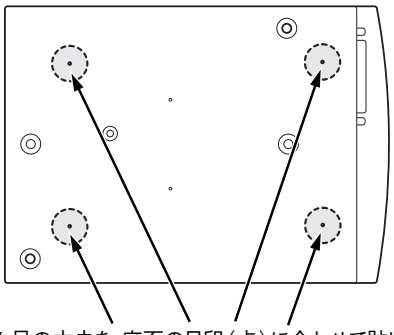
ポイント

このほかの機種をお使いの場合、コピーシステムへの取り付け方法については、お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。

ゴム足の貼り付け

スキャナにESNSB1のみ接続して使用する場合（コピーシステムと組み合わせない場合）は、ESNSB1の底面に付属のゴム足を貼り付けてください。ゴム足を貼り付けることにより、設置が安定します。

コピーシステムと組み合わせてお使いの場合、ゴム足は貼り付けないでください。



ゴム足の中央を、底面の目印（点）に合わせて貼り付けます

スキャナとの接続

注 意

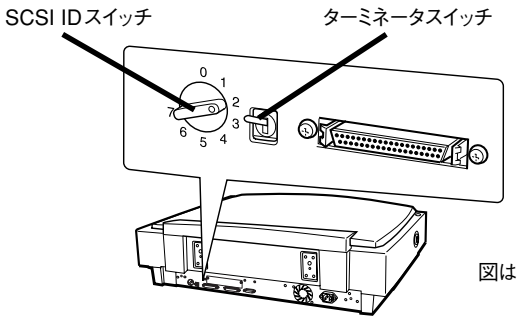
接続する前に、ESNSB1とスキャナの電源がオフになっていることを確認してください。電源がオンの状態でケーブルを抜き差しすると、機器自体の故障の原因になります。

ポイント

スキャナには、コンピュータや他のSCSI機器などを接続（デイジーチェーン）しないでください。これらを接続すると正常に動作しません。
なお、USBまたはIEEE1394接続であれば、スキャナにコンピュータも接続することができます。ただし、取り込み動作を同時に行うことはできません。

1 スキャナのSCSI IDを0～6のいずれかに、ターミネータをオンに設定します。

工場出荷時は、SCSI IDは2、ターミネータはオンに設定されています。設定を変えていない場合、そのまま接続して使用できます。
設定方法の詳細は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



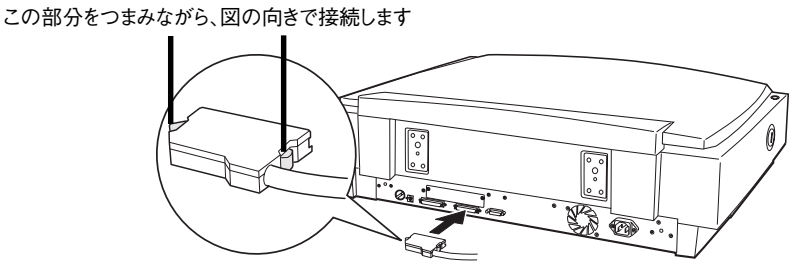
図はES-6000HSの例です。

ポイント

ESNSB1は、SCSI ID 7を使用しています。そのため、スキャナのSCSI IDを7に設定すると正常に動作しません。

2 スキャナ背面のSCSIコネクタに、付属のSCSIケーブルを図の向きで接続します。

カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。なお、付属のSCSIケーブルには向きがあります。図の向きになる側のコネクタを接続してください。
図はES-6000HSの例です。

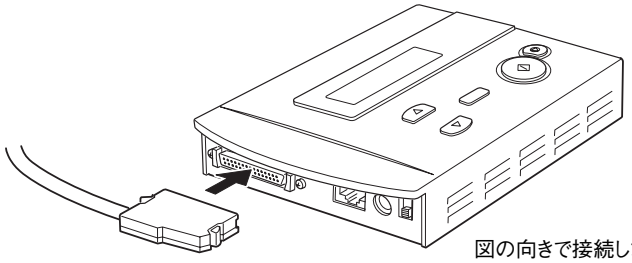


ポイント

- コピーシステムに取り付ける場合は、図と反対の向きになる側のコネクタを接続してください。
- ＥＳ-９０００Ｈ をお使いの場合は、５０ ピンコネクタに接続してください（ESNSB1 は、Wide SCSI には対応していません）。また、SCSI データバス幅切替スイッチをＮの位置にしてください。

3 SCSI ケーブルのもう一方を、ESNSB1 に図の向きで接続します。

カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。なお、付属のSCSIケーブルには向きがあります。 図の向きになる側のコネクタを接続してください。



図の向きで接続します

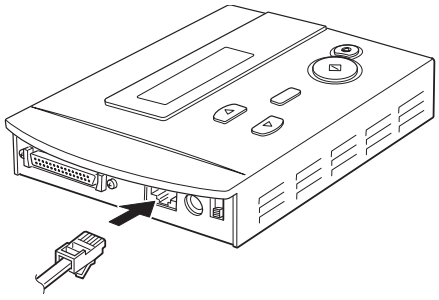
ポイント

コピーシステムに取り付ける場合は、図と反対の向きになる側のコネクタを接続してください。

ネットワークへの接続

4 ESNSB1 のモジュラージャックに、ネットワークケーブルを接続します。

カチッと音がするまで、確実に差し込んでください。



ACアダプタの接続

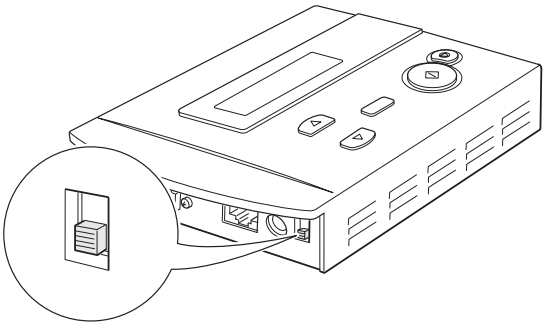
⚠注意

- 巻頭の［安全にお使いいただくために］を参照の上、正しくお取り扱いください。
- 本製品を長い間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

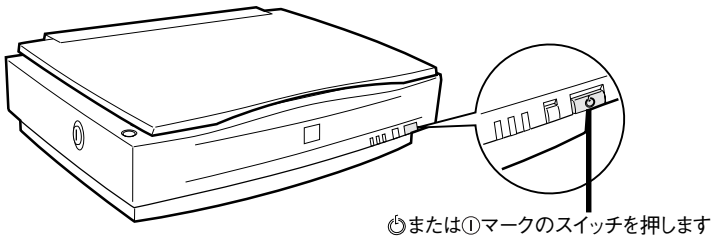
1 スキャナとの電源連動切替スイッチを設定します。

工場出荷時は下側（連動 OFF）に設定されています。
上側に設定すると、電源のオン／オフがスキャナに連動するため便利です。

スイッチの位置	説明
上側（連動 ON）	スキャナの電源をオン／オフすると、ESNSB1 の電源も連動してオン／オフします。 スキャナの電源がオフであれば、ACアダプタを接続しても電源はオフのままです。
下側（連動 OFF）（出荷時設定）	ACアダプタを接続するとESNSB1の電源がオンになり、ACアダプタを外すとオフになります。スキャナとは連動しません。



2 スキャナの OPERATE スイッチを押して電源をオンにします。

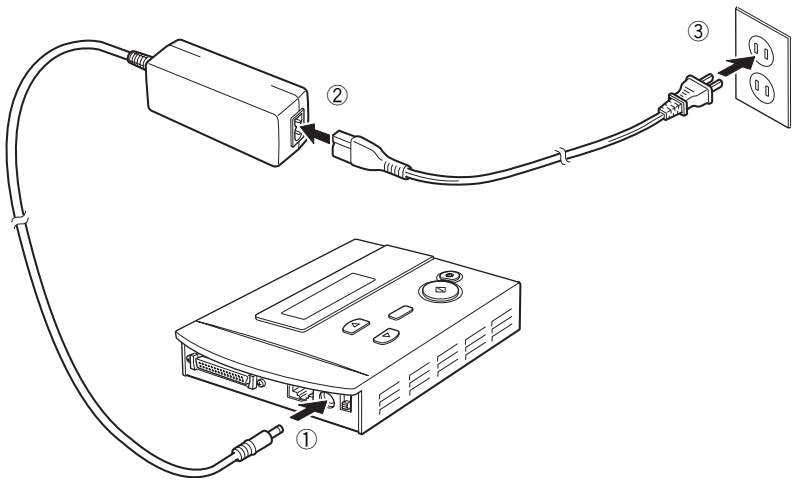


図はES-6000HSの例です。

電源の投入と動作の確認

❸ コンセントの電圧がAC100Vであることを確認し、付属のACアダプタを接続します。

図中の番号順に、確実に接続してください。
ACアダプタは、必ず付属品をお使いください。



ACアダプタを接続するとESNSB1の電源がオンになり、LCDパネル表示が右のように変わっていきます。Xの部分には数値が表示されます。
<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ>と表示されたら正常です。

<ｳｫｰﾐﾝｸﾞ ｱｯﾌﾟ>

⇩

<ｽｷｬﾅ ﾁｪｯｸ ID=X>

⇩

<ｽｷｬﾅ ｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｼﾀ>
SCANNER ES-XXXX

⇩

<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ>

このように表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、102ページを参照して対処してください。

4 **これで動作の確認は終了です。この後はネットワークに関する設定を行うので、電源をオフにしておきます。**

電源をオフにするには、スキャナのOPERATEスイッチを押すか、ACアダプタを外します。

ネットワーク設定

ESNSB1に接続したスキャナをネットワークで利用するには、ESNSB1でネットワークに関する設定を行う必要があります。

ネットワーク設定項目には次のものがあります。

項目		初期設定
IP アドレス		192.168.192.168
サブネットマスク		255.255.255.000
ゲートウェイ		255.255.255.255
IP 取得設定	RARP	RARP による IP アドレスの自動取得をしない
	BOOTP	BOOTP による各種アドレスの自動取得をしない
	DHCP	DHCP による各種アドレスの自動取得をしない
	AUTO IP	arp/ping コマンドによる IP アドレス設定が有効
Ethernet 設定		10BASE-T/100BASE-TX 自動認識

以降の説明では、上の項目から順に設定していきます。

アドレス設定

ここでは、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。それぞれのアドレスについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
なお、132 ページの［用語解説］に、詳しい説明があります。

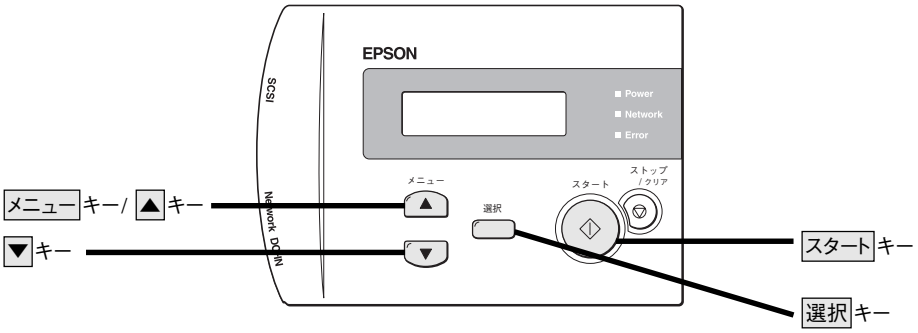
IP アドレスを設定する方法は 2 通りあります。

- **ESNSB1 のパネル操作で設定する方法**
- **ネットワーク上の PC から、arp/ping コマンドにより設定する方法**

ESNSB1のパネル操作で設定する方が簡単ですので、ここではその方法のみ説明します。もし、arp/ping コマンドによって設定したい方は、116 ページをご覧ください。

1 ESNSB1のパネルに<ｾｯﾃｲ ﾓｰﾄﾞ>と表示されるまで メニュー キーを押し続けながら、電源をオンにします。

電源をオンにするには、スキャナのOPERATEスイッチを押すか、ACアダプタを接続します。



2 メニュー キーから指を離すと<IPｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ>画面が表示されますので、まずIPアドレスを設定します。

- IPアドレスは、ほかのネットワーク機器やPCで既に使用されているアドレスと重複しない値に設定してください。
- アドレスは3桁で設定してください。数値が1桁または2桁の場合は、001または022のように設定します。

設定の仕方：
アンダーライン付きの数値を、次の手順で左から1つずつ設定していきます。

1. ▲キーまたは▼キーで数値を設定します。（▲キーでUP、▼キーでDOWN）
例えば192の状態で▲キーを押すと193に、▼キーを押すと191になります。
なお、アドレスは255より大きい数値には設定できません。そのため、例えば192の状態で▲キーを押しても、292にはなりませんのでご注意ください。
2. 選択 キーを押し、アンダーラインを1つ右に移動します。
アンダーラインが右端にある時に 選択 キーを押すと、アンダーラインは左端に移動します。
3. 1と2の手順を繰り返し、すべての数値を設定します。設定したら、 スタート キーを押します。

3 <ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ ｾｯﾃｲ>画面が表示されますので、サブネットマスクを設定します。

アドレスは３桁で設定してください。数値が１桁または２桁の場合は、001または022のように設定します。

設定の仕方：

- サブネットマスク設定では、アンダーラインは表示されません。▲キーまたは▼キーを押すごとに、下位（右端）の数値から変わっていきます。
- ▲キーを押すごとに、数値が128、192、224、240、248、252、254、255と上がっていき、▼キーで逆に下がっていきます。000の時に▼キーを押すと、１つ上位（左）の数値が下がります。
  例えば255.255.255.000の状態で▲キーを押すと255.255.255.128に、▼キーを押すと255.255.254.000になります。
- サブネットマスクを設定したら、スタートキーを押します。

4 <ｹﾞｰﾄｳｪｲ ｾｯﾃｲ>画面が表示されますので、ゲートウェイアドレスを設定します。

- ここでは、ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを設定します。
  ゲートウェイがない場合は、初期値（255.255.255.255）のままにしておいてください。
- アドレスは３桁で設定してください。数値が１桁または２桁の場合は、001または022のように設定します。

設定の仕方は、IPアドレスと同じです。 前ページをご覧ください。

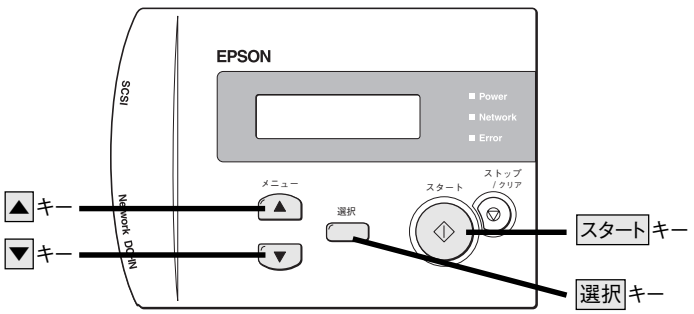
IP 取得設定／ Ethernet 設定

5 <IP ｼｭﾄｸ ｾｯﾃｲ> 画面が表示されます。

ここでは、次の項目の ON/OFF を設定できます。
通常は、設定を変更する必要はありません。変更しない場合は、スタート キーを押して次の手順に進んでください。

項目	初期設定	説明
RARP	OFF	RARP サーバがない場合は、OFF のままにしておきます。 RARP（Reverse Address Resolution Protocol）を用いて、サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、ON に設定します。
BOOTP	OFF	BOOTP サーバがない場合は、OFF のままにしておきます。 BOOTP（BOOTstrap Protocol）を用いて、サーバから IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを自動取得する場合は、ON に設定します。
DHCP	OFF	DHCP サーバがない場合は、OFF のままにしておきます。 DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を用いて、サーバから IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを自動取得する場合は、ON に設定します。
AUTO IP	ON	IP アドレスを、ネットワーク上の PC から arp/ping コマンドにより設定する場合は、ON のままにしておきます。 arp/ping コマンドによる設定を不可にしたい場合は、OFF に設定します。

設定の仕方：



1. ▲キーまたは▼キーで設定項目を切り替えます。
   最初はRARPが表示されます。▼キーを押すごとに、BOOTP、DHCP、AUTO IPと変わっていきます。▲キーで逆順に変わります。
2. 選択 キーを押して ON/OFF を切り替えます。
3. 1と2の手順を繰り返し、すべての項目を設定します。
4. 設定したら、スタート キーを押します。

6 <ｲｰｻﾈｯﾄ ｾｯﾃｲ> 画面が表示されます。

通常は、設定を変更する必要はありません。変更しない場合は、スタート キーを押して次の手順に進んでください。

本機は 10BASE-T/100BASE-TX 自動切り替えで動作しますが、HUB との相性で自動認識が正常に動作しない場合は、ここで 10BASE-T または 100BASE-TX に設定します。 初期設定では AUTO（自動認識）になっています。

設定の仕方：

選択 キーを押すごとに、100BASE-TX、10BASE-T、AUTOと変わっていきます。設定したら、スタート キーを押します。

7 次のように表示されます。もう一度 スタート キーを押して設定を保存してください。

```
<ｾｯﾃｲ ﾎｿﾞﾝ>
[ｽﾀｰﾄ]ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

<ｾｯﾃｲ ﾖ ｶｷｺﾐﾏｽ> と表示され、しばらくすると <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されます。これでネットワーク設定は終了です。

この後は、次のページに進んでください。

ネットワークスキャンを行う場合　：41 ページへ
サーバスキャンの準備に進む場合：45 ページへ（Windows）
53 ページへ（NetWare）

ネットワーク設定を変更する時は

設定を変更する場合、2 通りの方法があります。

- 操作パネルで設定変更する
- Web ブラウザから設定変更する（推奨）

Web ブラウザでの設定可能項目

Web ブラウザからの設定では、ここでの設定のほかに、次のことができます*。詳細は 119 ページで説明しています。

項目	設定内容
基本情報	・MAC アドレスの確認 ・スキャナの状態確認
用紙サイズ	サーバスキャン時の任意用紙サイズ
管理者情報	・管理者名 ・よく使う URL へのリンク設定
リセット	・リセット（ネットワーク設定を有効にする） ・工場出荷時設定に戻す
パスワード	Web ブラウザでの設定にパスワードを設定する

* Ethernet 設定（10BASE-T/100BASE-TX 切替）は操作パネルでのみ行えます。

専用スキャナスタンドへの取り付け方

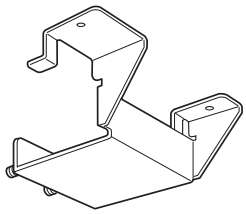
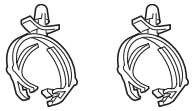
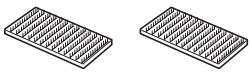
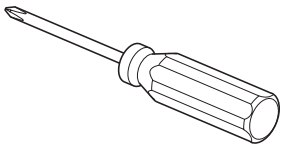
CS-3000をお持ちで、専用スキャナスタンドをお使いの場合は、本製品に付属の取り付け金具を使用して、スキャナスタンドにESNSB1を取り付けてください。

ポイント

このほかの機種をお使いの場合、コピーシステムへの取り付け方法については、お使いの機種の取扱説明書をご覧ください。

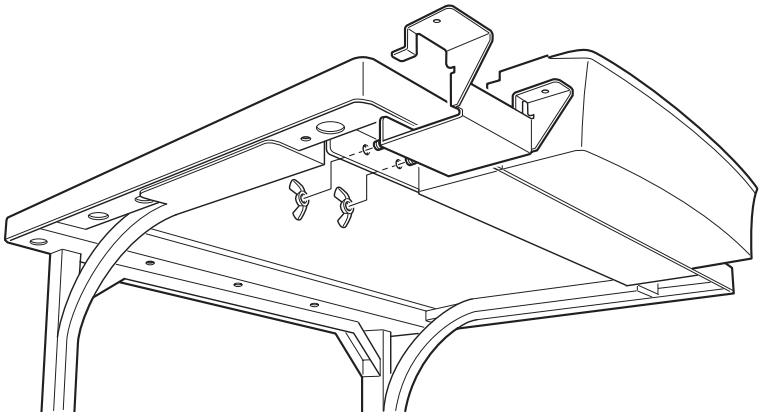
スキャナスタンドへの取り付け方

取り付けに必要な物は次の通りです。

取り付け金具 （本製品に付属） 	蝶ネジ×2 （本製品に付属） 	取り付けネジ×2 （本製品に付属）
ケーブル止め×2 （本製品に付属） 	マジックテープ×2 （本製品に付属） 	プラスドライバ 

1 スキャナスタンドに取り付け金具を取り付けます。

スキャナスタンドの取り付け穴に取り付け金具のネジを通し、蝶ネジで固定します。

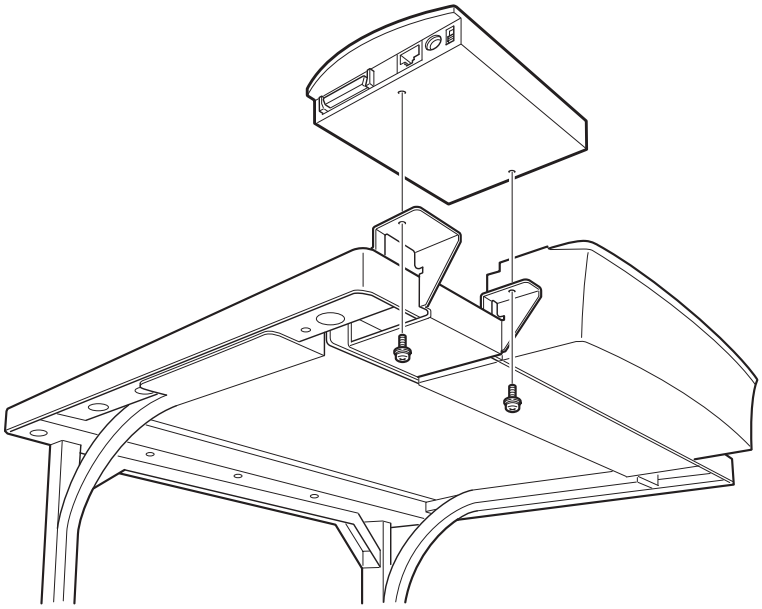


2 ESNSB1 を取り付け金具の上に載せ、下から取り付けネジで固定します。

プラスドライバをお使いください。

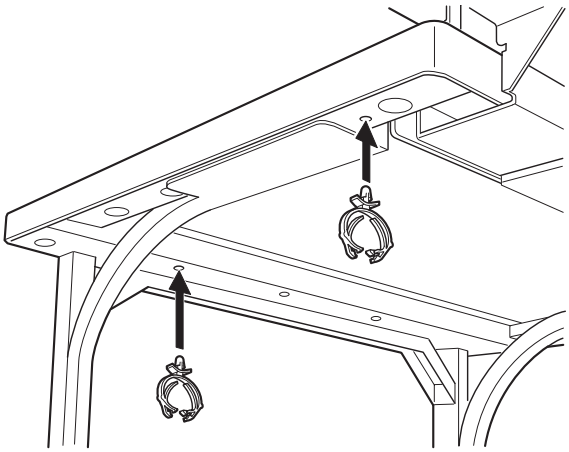
注 意

ESNSB1 を落とさないようご注意ください。



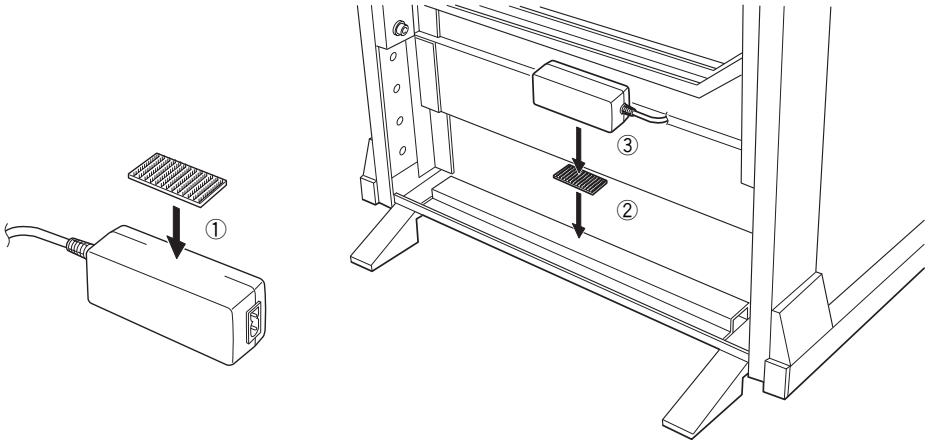
3 トップフレームの底面 2 箇所に、ケーブル止めを差し込みます。

ケーブル止めは、本製品の付属品をお使いください。スキャナスタンドにもケーブル止めが付属していますが、径が小さく、ESNSB1の接続ケーブル3本を束ねることができない場合があります。もし、スキャナスタンド付属品を既に差し込んである場合は、差し替えてください。



4 スキャナスタンドに AC アダプタを貼り付けます。

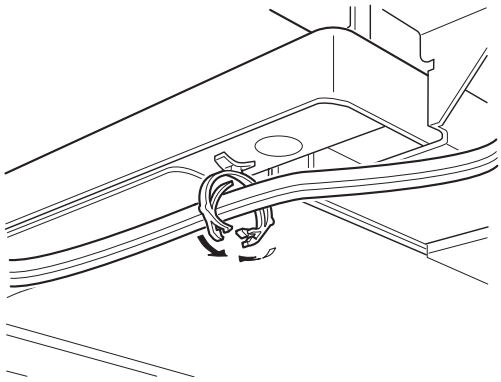
①マジックテープの剥離紙をはがし、ACアダプタの側面（シールが貼られていない面）に貼り付けます。
②もう1枚のマジックテープの剥離紙をはがし、スキャナスタンド背面下に貼り付けます。
③ AC アダプタ（マジックテープ同士）を貼り付けます。



5 ESNSB1 とスキャナを SCSI ケーブルで接続し、ESNSB1 にネットワークケーブルと AC アダプタを接続します。

詳しくは 26 ページをご覧ください。

各ケーブルは、トップフレーム下に沿うように引き回し、ケーブル止めで固定します。



これでスキャナスタンドへの取り付けは終了です。

ネットワークスキャンの仕方

ここでは、ネットワーク経由での取り込み手順の概要を説明しています。

● ネットワークスキャンの準備 P.42
● ネットワークスキャンの仕方 P.44

ネットワークスキャンの準備

クライアント PC の TCP/IP 設定

スキャナを利用するPCで、各種アドレスを設定します。OSによっては、TCP/IPプロトコルを組み込む必要があります。

- 設定済みの場合は、次の手順に進んでください。
- これから設定する場合、設定手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］をご覧ください。

ソフトウェアのインストール

クライアント PC に、スキャナを使用するためのソフトウェア［EPSON TWAIN xx Network］および、TWAIN 対応アプリケーションをインストールします。次の手順に従ってください。

スキャナと ESNSB1 の準備

EPSON TWAIN xx Network をインストール後、ESNSB1 と通信して接続の設定とテストを行います。そのため、EPSON TWAIN xx Network をインストールする前に、スキャナ /ESNSB1 側で次の準備をしておいてください。

1 **スキャナの電源をオンにします。**

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

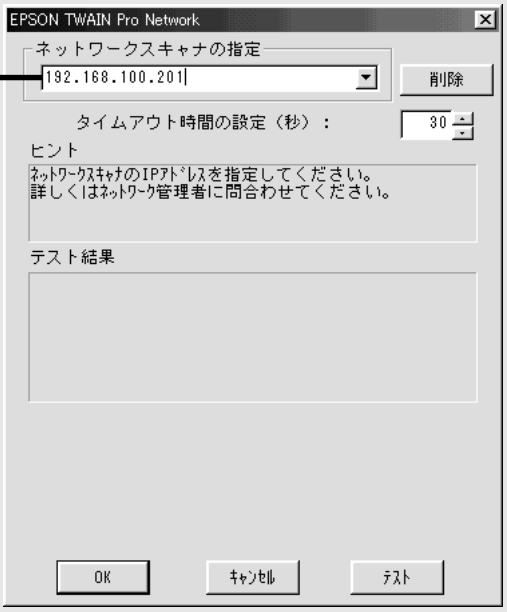
ソフトウェアのインストールとネットワークスキャナの指定

2 **クライアント PC に、EPSON TWAIN xx Network および、TWAIN 対応アプリケーションをインストールします。**

これらのソフトウェアは、スキャナの付属品を使います。スキャナに付属のソフトウェア CD-ROM をご用意ください。
インストール手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［ソフトウェアのインストール］をご覧ください。 なおネットワークガイドに、スキャナサーバおよび EPSON Scan Server に関する記載がある場合は、無関係ですので読み飛ばしてください。

ポイント

EPSON TWAIN xx Network のインストール中、次の画面が表示され、ここでネットワークスキャナの指定とテストを行います（画面は Windows 版の EPSON TWAIN Pro Network Rev.2.0a での例）。



［ネットワークスキャナの指定］ボックスには、ESNSB1 の IP アドレスを入力してください。画面は例です。

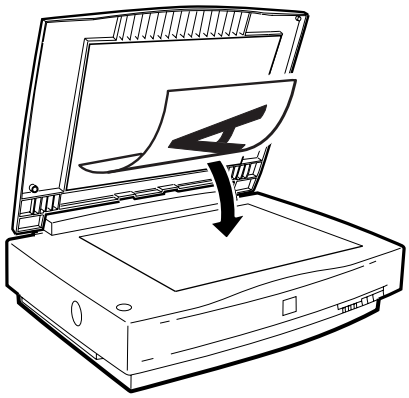
ネットワークスキャンの仕方

スキャナと ESNSB1 の準備

1 **スキャナの電源をオンにします。**

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

2 **スキャナに原稿をセットします。**



画像の取り込み

スキャナに付属しているEPSON Scan to File（または市販のTWAIN対応アプリケーション）および、EPSON TWAIN xx Network を使用して、画像を取り込みます。詳しくは、スキャナに付属しているネットワークガイド［ネットワーク経由での取り込み方］をご覧ください。

スキャナに付属のネットワークガイドに、スキャナサーバという言葉がある場合は、ESNSB1 と読み替えてください。

サーバスキャン設定の前に(Windows)

ここでは、サーバOSがWindowsの場合に、サーバスキャンの新規設定前に必要な準備作業を説明しています。

● 設定の流れ P.46
● ネットワーク設定 P.47
● 共有フォルダの作成 P.49

設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

①各 PC でネットワーク設定

まず、ファイルサーバ・ServerScan PC・クライアント PC で、次の設定をします。

- TCP/IP プロトコルの組み込みと IP アドレスの設定
  → スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］
- OS が Windows95/98/Me の場合は、ネットワークソフトの組み込み
  → 47 ページ参照

これらの設定は、ESNSB1・ファイルサーバ・ServerScan PC、クライアント PC が通信するために必要です。

- 各 PC でこれらの設定が済んでいる場合は、②に進んでください。
- 特に TCP/IP 設定では各種ネットワークアドレスなどの知識が必要なため、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。

②ファイルサーバに共有フォルダを作成

ファイルサーバに、共有フォルダをいくつか作成します。

→ 49 ページ参照

TCP/IP 設定

ファイルサーバ・ServerScan PCとして利用するPC・クライアントPCでTCP/IP設定をしていない場合は、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP設定］を参照して設定してください。

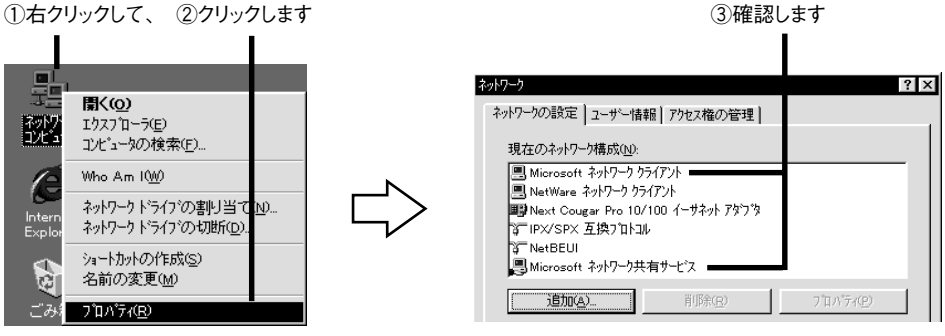
ネットワークソフトの組み込み

各PCのOSがWindows95/98/Meの場合は、下表に示すネットワークソフトを組み込む必要があります。

PC	必要なネットワークソフト
ServerScan PC として利用する PC	Microsoft ネットワーククライアント
クライアント PC	
ファイルサーバ	Microsoft ネットワーク共有サービス

以降、組み込み手順を共通で説明します。

1 **①［ネットワークコンピュータ］または［マイ ネットワーク］アイコンを右クリックし、②［プロパティ］を選びます。③現在のネットワーク構成に、［Microsoft ネットワーククライアント］または［Microsoft ネットワーク共有サービス］があることを確認します。**



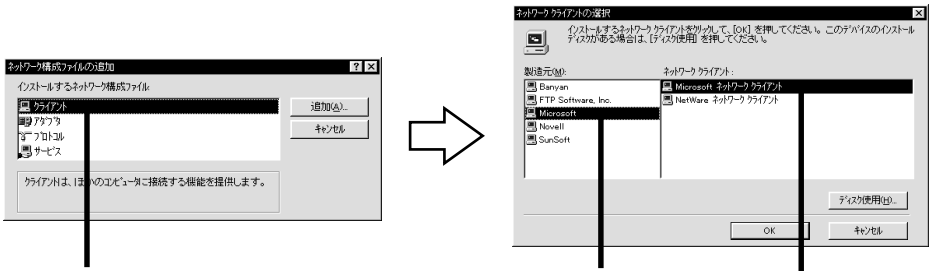
2 **［Microsoftネットワーククライアント］または［Microsoftネットワーク共有サービス］がない場合は、追加 ボタンをクリックします。**

ある場合は、設定の必要はありません。キャンセル ボタンをクリックし、49ページに進んでください。

❸ 下の画面を参照し、インストールするネットワーク構成ファイル、製造元、ネットワークソフトを選択します。

＜ Microsoft ネットワーククライアントを組み込む場合＞

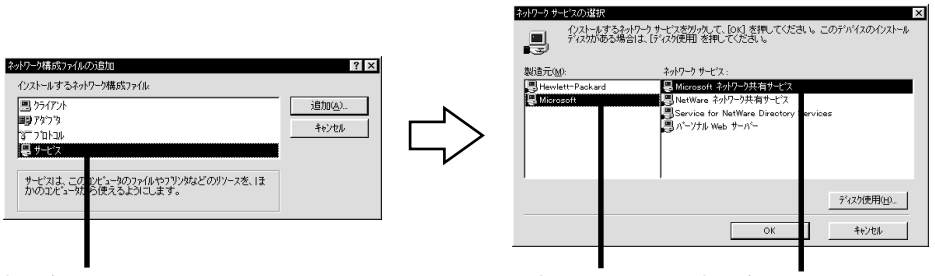
①［クライアント］をダブルクリックします。②製造元で［Microsoft］を選択し、③［Microsoft ネットワーククライアント］をダブルクリックします。



①ダブルクリックします　　②クリックして、　③ダブルクリックします

＜ Microsoft ネットワーク共有サービスを組み込む場合＞

①［サービス］をダブルクリックします。②95/98の場合は、製造元で［Microsoft］を選択し、③［Microsoft ネットワーク共有サービス］をダブルクリックします。



①ダブルクリックします　　②クリックして、　③ダブルクリックします

❹ ［ネットワーク］画面に戻るので、OK ボタンをクリックします。

これでネットワークソフトの組み込みは終了です。しばらくすると［再起動しますか?］と表示されるので、はい を選んでコンピュータを再起動してください。

共有フォルダの作成

まずファイルサーバ上に、次の2種類の共有フォルダを作成します。

スキャナホームフォルダ

スキャナおよびユーザー情報を保存するフォルダを、スキャナホームフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。

スキャナは5台まで登録可能です。複数台登録する場合は、スキャナ1台につき1つのスキャナホームフォルダを作成してください。複数のスキャナでスキャナホームフォルダを共有することはできません。

ユーザースキャンフォルダ

サーバスキャンしたデータおよび、プロファイル（取り込み設定ファイル）を保存するフォルダを、ユーザースキャンフォルダといいます。これを共有フォルダとして作成しておきます。

ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。

＜作成例＞

C:¥
- SCANHOME（共有フォルダ）
  - SCANBOX1（スキャナ1用のスキャナホームフォルダ）
  - SCANBOX2（スキャナ2用のスキャナホームフォルダ）
- SCANUSER（共有フォルダ）
  - ITO（伊藤さん用のユーザースキャンフォルダ）
  - SATO（佐藤さん用のユーザースキャンフォルダ）

上記は、1つの共有フォルダの下層に、各スキャナ用のスキャナホームフォルダおよび、各ユーザー用のユーザースキャンフォルダを作成する例です。

このような場合は、SCANHOMEフォルダとSCANUSERフォルダを作成しておいてください。その下層フォルダは、EPSON Server Scan Agentで作成します。

共有フォルダ作成上のご注意

- ２種類の共有フォルダは、半角英数８文字以内（MS-DOS の 8.3 形式）で作成しておいてください。
  また、半角英数９文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ・ドライブ（ハードディスク）・フォルダの下層には作成しないでください。
  なお、フォルダパスの階層は、24 階層以内です。

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。ただし、フォルダは分けてください。兼用すると正常に動作しません。

  ×　C:¥
  　　└ SRVSCAN（スキャナホームフォルダ／ユーザースキャンフォルダ兼用）

- ユーザースキャンフォルダはスキャナホームフォルダの下層にしないでください。下層に作成すると、何らかの理由でスキャナホームフォルダを削除する場合に、ユーザースキャンフォルダ内のデータまで削除されてしまいます。

  ×　C:¥
  　　└ SCANHOME（スキャナホームフォルダ）
  　　　　└ SCANUSER（ユーザースキャンフォルダ）

アクセスユーザーと必要なアクセス権

各フォルダには次のユーザーがアクセスします。必要なアクセス権は次の通りです。

フォルダ	アクセスユーザー	必要なアクセス権
スキャナホームフォルダ	ServerScan PC	読み／書き
ユーザースキャンフォルダ	ServerScan PC	読み／書き
	クライアント PC	読み／書き

次ページで、共有フォルダの作成方法とアクセス権の設定方法を説明しています。

共有フォルダの作成とアクセス権の設定方法

次の操作は、共有フォルダを作成するファイルサーバ上で行ってください。
なお、ファイルサーバとServer Scan PCが同一のPCであっても、スキャナホームフォルダに対してこの設定が必要です。

1. エクスプローラなどを起動して、ファイルサーバ上に新規フォルダを作成します。新規フォルダを作成するドライブ（ハードディスク）をクリックし、［ファイル］メニューから［新規作成］ー［フォルダ］を選びます。
2. 新しいフォルダが作成されますので、名称を入力します。
半角英数8文字以内（MS-DOSの8.3形式）で作成しておいてください。
3. フォルダを右クリックし、［共有］を選びます。
4. 表示される画面で、共有とアクセス権の設定を行います。

   Windows95/98/Me ：［共有する］を選び、アクセスの種類で［フルアクセス］を選びます。

   WindowsNT/2000 ：［共有する］を選びます。デフォルトで全ユーザー（Everyone）にフルコントロールの権利が与えられます。

   WindowsXP ：画面の指示に従ってファイル共有を有効にしてください。
5. OKボタンをクリックします。これで共有フォルダが作成できました。

フォルダ構成メモ欄

この後は、サーバスキャンの設定（61ページ）に進んでください。

サーバスキャン設定の前に(NetWare)

ここでは、サーバOSがNetWareの場合に、サーバスキャンの新規設定前に必要な準備作業を説明しています。

●設定の流れ P.54
●Novell Clientのインストール P.55
●ファイルサーバへのユーザー登録 P.56
●共有フォルダについて P.59

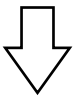
設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① Novell Client をインストール

まず、ServerScan PC・クライアント PC それぞれに、Novell Client をインストールする必要があります。
Novell Client は、ServerScan PC とクライアント PC が NetWare サーバと通信するために必要です。

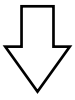
→ 55 ページ参照



②ファイルサーバにユーザーを登録

NetWare のユーティリティを使用して、ServerScan PC およびクライアント PC を利用するユーザーを登録します。

→ 56 ページ参照



③必要に応じて、共有ドライブ上にフォルダを作成

必要に応じて、NetWare サーバの共有ドライブ上にフォルダを作成します。

→ 59 ページ参照

Novell Client のインストール

ServerScan PCおよびクライアントPCに、Novell Clientをインストールしてください。なお、Novell Clientが対応していないOSでは使用できません。
Novell Clientは、下記サイトからダウンロードしてください。

http://www.novell.co.jp（2001年11月現在）

各Windowsに対応するNovell Clientは次の通りです。

Windows95/98/Me

Novell Client for Windows 95/98/Me Ver.3.3以降

WindowsNT4.0/2000

Novell Client for Windows NT/2000 Ver.4.8以降

既にインストール済みの場合、ここでのインストールは不要です。

NetWare 5.xJ をお使いの方へ

NetWare 5.xJをサーバとして使用する場合、IPX環境でもIP環境でもサーバスキャンを行えます。
IP環境でお使いの場合は、ServerScan PCおよびクライアントPCで、TCP/IPの設定をしてください。詳しくはスキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP設定］をご覧ください。

ファイルサーバへのユーザー登録

ServerScan PCおよびクライアントPCを利用するユーザーを、ファイルサーバに登録します。この作業は、サーバを管理する方が行ってください。

NetWare3.xJ

1 **設定するNetWareサーバに、管理者の権限でログインします。**

2 **NetWareのユーティリティ“SYSCON”を起動します。**

3 **ユーザーを登録します。**

①［利用可能な項目］から［ユーザ情報］を選びます。

利用可能な項目
アカウント処理
カレントサーバの変更
ファイルサーバ情報
グループ情報
スーパーバイザオプション
ユーザ情報

②ユーザー名の一覧が表示されたら、Insertキーを押して、ユーザーのログイン名を47文字以内で入力します。

③ログイン名を入力すると、［作成するユーザのディレクトリパス］画面が表示されますので、Escキーを押して終了します。

④複数のユーザーを登録する場合は、②と③の手順を繰り返します。
すべてのユーザーを登録したら、Escキーを何度か押してSYSCONを終了してください。

続いて59ページに進み、共有フォルダについて確認してください。

NetWare4.1xJ ／ 5.xJ、IntranetWare-J

1 設定する NetWare サーバに、管理者の権限でログインします。

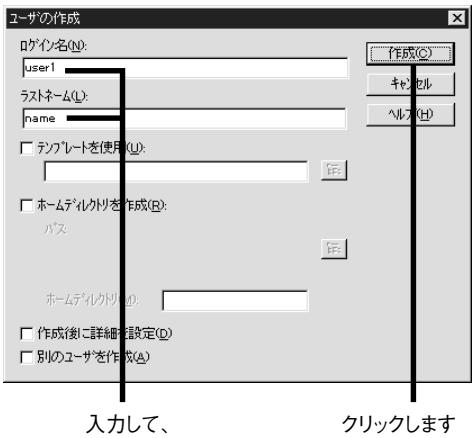
2 NetWare のユーティリティ“NWADMIN”を起動します。

3 **設定するNDS上(またはバインダリコンテキスト上)に、ユーザーを登録します。**

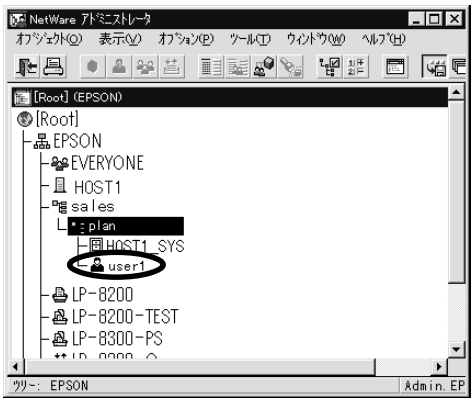
NDS モードの場合は任意の組織、部門下に、バインダリモードの場合はサーバのあるコンテキストの直下にユーザを登録します。

① ユーザオブジェクトの作成 ボタンをクリックして、[ユーザの作成] を起動します。

② [ユーザの作成] 画面で、
ユーザーのログイン名とラストネームを入力し、作成 ボタンをクリックします。
47文字以内で入力してください。大文字・小文字の区別はありません。



③NDS 上（またはバインダリコンテキスト上）に、ユーザーが作成されます。



続いて 59 ページに進み、共有フォルダについて確認してください。

共有フォルダについて

サーバスキャンを行うには、ファイルサーバ上に、次の2種類の共有フォルダが必要です。

スキャナホームフォルダ

スキャナおよびユーザー情報を保存するフォルダです。これをスキャナホームフォルダといいます。

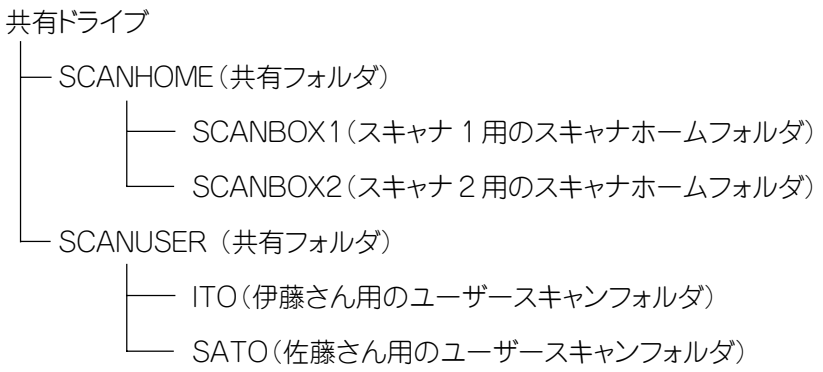
スキャナは5台まで登録可能です。複数台登録する場合は、スキャナ1台につき1つのスキャナホームフォルダが必要です。複数のスキャナでスキャナホームフォルダを共有することはできません。

ユーザースキャンフォルダ

サーバスキャンしたデータおよび、プロファイル（取り込み設定ファイル）を保存するフォルダです。 これをユーザースキャンフォルダといいます。

ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。

＜フォルダ構成例＞



上記は、共有ドライブ上のフォルダの下層に、各スキャナ用のスキャナホームフォルダおよび、各ユーザー用のユーザースキャンフォルダを作成する例です。

- **このような場合は、SCANHOMEフォルダとSCANUSERフォルダを前もって作成しておいてください。その下層フォルダは、EPSON Server Scan Agentで作成します。**
- **スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダを共有ドライブの直下に作成する場合は、EPSON Server Scan Agentで作成します。前もって作成しておく必要はありません。**

スキャナホームフォルダ / ユーザースキャンフォルダ作成上のご注意

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダの上層のフォルダを前もって作成しておく場合、そのフォルダは、半角英数8文字以内（MS-DOSの8.3形式）で作成しておいてください。
  また、半角英数9文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ・ドライブ（ハードディスク）・フォルダの下層には作成しないでください。
  なお、フォルダパスの階層は、24階層以内です。

- スキャナホームフォルダとユーザースキャンフォルダは同一のファイルサーバ上に作成してください。ただし、フォルダは分けてください。兼用すると正常に動作しません。

  ×　共有ドライブ
  　└ SRVSCAN（スキャナホームフォルダ／ユーザースキャンフォルダ兼用）

- ユーザースキャンフォルダはスキャナホームフォルダの下層にしないでください。下層に作成すると、何らかの理由でスキャナホームフォルダを削除する場合に、ユーザースキャンフォルダ内のデータまで削除されてしまいます。

  ×　共有ドライブ
  　└ SCANHOME（スキャナホームフォルダ）
  　　└ SCANUSER（ユーザースキャンフォルダ）

フォルダ構成メモ欄

サーバスキャンの設定

ここでは、サーバスキャンの設定手順を、Windows/NetWare 共通で説明しています。

● 設定の流れ P.62
● ソフトウェアのインストール P.63
● サーバスキャンの新規設定 P.67
● サーバスキャンの設定変更と削除 P.77

設定の流れ

この章で説明している設定作業の流れを説明します。まず流れを把握していただき、それぞれの参照先に従って作業を進めてください。

① ServerScan PC に EPSON Server Scan Agent をインストール

ServerScan PCに、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Server Scan Agent］をインストールします。
［EPSON Server Scan Agent］は、サーバスキャンの設定および、サーバスキャンしたデータの中継を行うためのソフトウェアです。

→ 63 ページ参照

＜ EPSON Server Scan Agent ＞

②クライアント PC に EPSON Scan Editor をインストール

サーバスキャン機能を利用するユーザーそれぞれのＰＣ に、本製品に付属のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。
［EPSON Scan Editor］は、プロファイル（取り込み設定ファイル）を作成するためのソフトウェアです。
サーバスキャンでは、プロファイルの内容に従って取り込み・保存が実行されます。

→ 65 ページ参照

＜ EPSON Scan Editor ＞

③ EPSON Server Scan Agent でサーバスキャン設定

EPSON Server Scan Agent を使用して、サーバスキャンの設定を行います。

→ 67 ページ参照

ソフトウェアのインストール

EPSON Server Scan Agentのインストール

ServerScan PCとして利用するPCに、EPSON Server Scan Agentをインストールします。

EPSON Server Scan Agentは、同一ネットワーク上の複数台のPCにインストールしないでください。

1 ServerScan PCとして利用するPCを起動します。

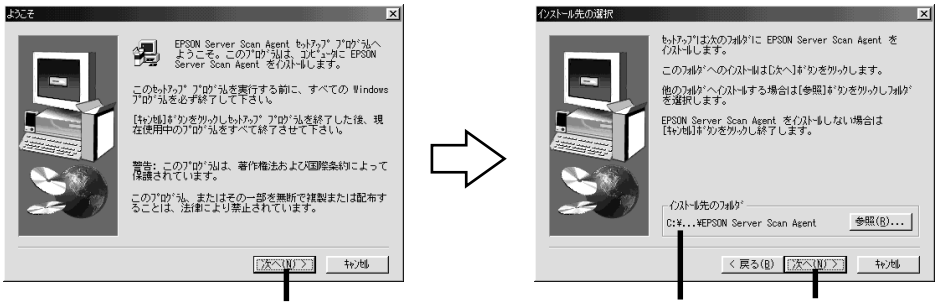
PCのOSがWindowsNT/2000/XPの場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

2 ESNSB1 ソフトウェア CD-ROMをセットします。

しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、［EPSON Server Scan Agentのインストール］をダブルクリックします。

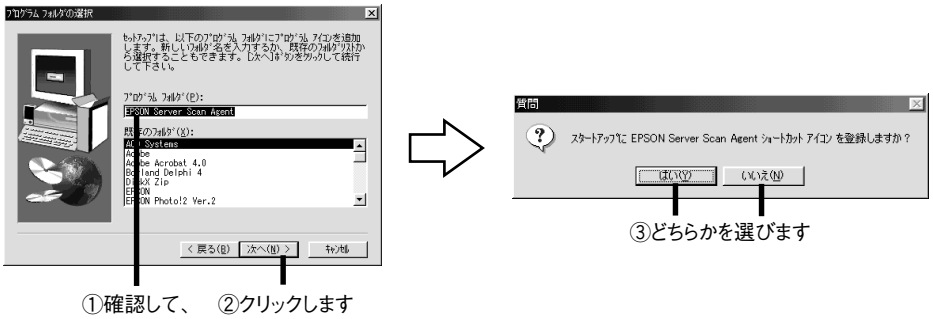
3 最初に左の画面が表示されるので、① 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、②インストール先のフォルダを確認し、よければ③ 次へ ボタンをクリックします。

通常は、インストール先のフォルダを変更する必要はありません。



4 左の画面が表示されます。①登録するプログラムフォルダを確認し、よければ② 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、③どちらかを選びます。

- 通常は、プログラムフォルダを変更する必要はありません。
- 右の画面で はい を選ぶと、EPSON Server Scan Agent が Windows のスタートアップに登録されます。そのため、ServerScan PC（Windows）を起動すると EPSON Server Scan Agent も自動的に起動し、常時サーバスキャンを利用できる状態になります。



5 次の画面が表示されたら、完了 ボタンをクリックします。

［インストールウィザード終了後、プログラムを起動し設定を行う］をチェックしておくと、完了 ボタンクリック後にEPSON Server Scan Agentが起動します。

これでインストールは終了です。
引き続き、クライアント PC に EPSON Scan Editor をインストールします。

EPSON Scan Editorのインストール

クライアントPCに、プロファイル作成用のソフトウェア［EPSON Scan Editor］をインストールします。

ポイント

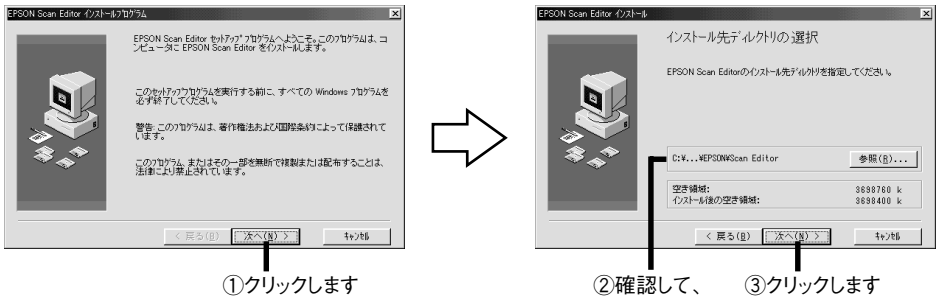
プロファイルは、サーバスキャンを利用するユーザーそれぞれの意図によって作り分けるものです。そのため、このソフトウェアはサーバスキャンを利用するすべてのユーザーのPCにインストールしてください。

1 クライアントPCを起動し、ESNSB1ソフトウェアCD-ROMをセットします。

しばらくすると次の画面が自動的に表示されますので、［EPSON Scan Editorのインストール］をダブルクリックします。

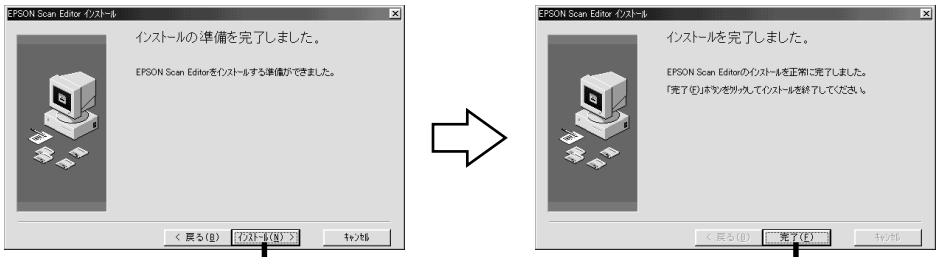
2 最初に左の画面が表示されるので、① 次へ ボタンをクリックします。右の画面が表示されたら、②インストール先のディレクトリを確認し、よければ③ 次へ ボタンをクリックします。

通常は、インストール先ディレクトリを変更する必要はありません。



3 左の画面が表示されたら、① インストール ボタンをクリックします。インストールがはじまります。

右の画面が表示されたら、② 完了 ボタンをクリックしてください。



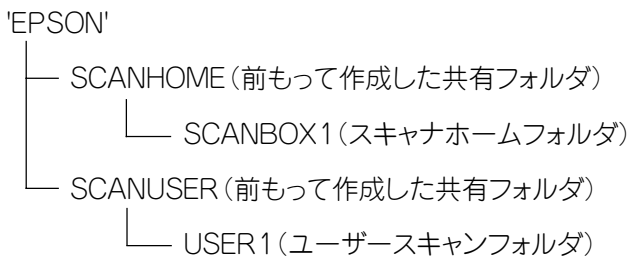
これでインストールは終了です。
引き続き、サーバスキャンの新規設定を行います。

サーバスキャンの新規設定

サーバスキャンの設定は、ネットワーク管理者の方が行うことをお勧めします。ネットワーク管理者がいない場合は、コンピュータ（Windows）の扱いに慣れた方が行うことを強くお勧めします。

以降では、次のケースを例に説明します。

ファイルサーバ名　　：EPSON
スキャナホームフォルダパス　：EPSON¥SCANHOME¥SCANBOX1
ユーザースキャンフォルダパス：EPSON¥SCANUSER¥USER1



設定前の確認事項

設定において、ESNSB1 の IP アドレスを入力する必要があります。ESNSB1 の IP アドレスを確認しておいてください（ネットワーク管理者にお問い合わせください）。IP アドレスとは、ネットワーク上で機器を識別するための識別子のことです。詳しくは 132 ページをご覧ください。

スキャナと ESNSB1 の準備

EPSON Server Scan Agent の設定時、ESNSB1 と通信して接続テストを行います。そのため、まずスキャナ／ ESNSB1 側で次の準備をしておいてください。

1 スキャナの電源をオンにします。

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

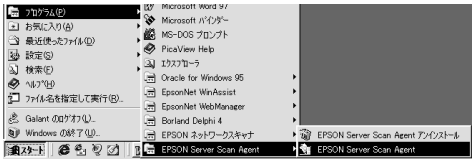
ポイント

他の人がEPSON TWAIN xx Networkでスキャナを使用している間は、EPSON Server Scan Agentでの設定が行えませんのでご注意ください。

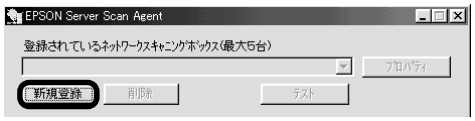
EPSON Server Scan Agentの設定

ServerScan PCとファイルサーバが異なる場合で、ファイルサーバの電源がオフになっている場合は、オンにしておいてください。

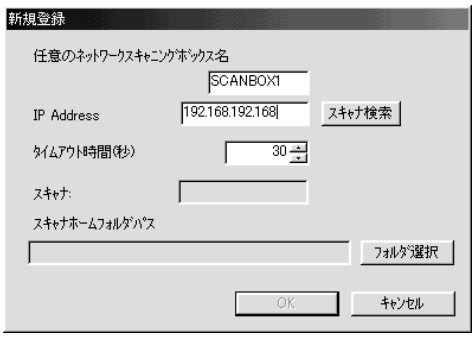
❷ EPSON Server Scan Agentを起動します。



❸ 新規登録ボタンをクリックします。



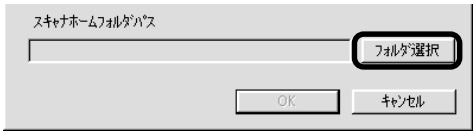
❹ 下表を参照し、各項目を設定します。



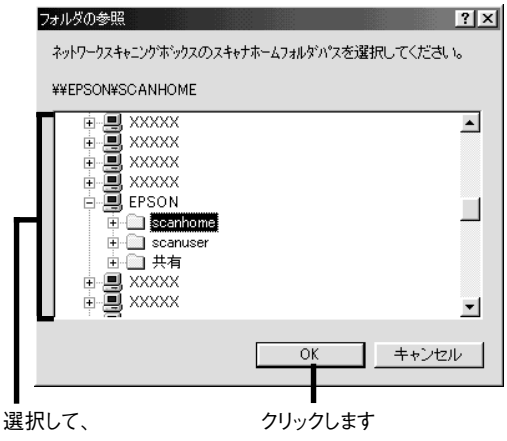
設定項目	説明
任意のネットワークスキャニングボックス名	任意の名称を、半角英数8文字以内で入力します。ESNSB1（スキャナ）1台につき、1つの名称を設定してください。 画面は、SCANBOX1と入力した例です。
IP Address	ESNSB1のIPアドレスを、ピリオド（.）を含めて入力します。1桁または2桁の数値が含まれる場合は、192.168.1.22のように入力してください。 画面は、192.168.192.168と入力した例です。 間違えてカンマ（,）を入力しないようご注意ください。
タイムアウト時間	通常は30秒のままにしておいてください。 ❺で［スキャナ検索］ボタンを押した時にタイムアウトエラーが発生する場合のみ、設定を変更します。30秒から300秒の間で設定します。 変更する場合、必要な時間はお使いのネットワーク環境や時間帯などによって異なります。15秒ずつくらいの間隔で時間を長くしていき、タイムアウトエラーが出なくなる時間を見つけてください。
スキャナホームフォルダパス	ESNSB1（スキャナ）1台につき、1つのフォルダを作成します。詳細は次ページをご覧ください。

スキャナホームフォルダの作成方法

1. フォルダ選択 ボタンをクリックします。

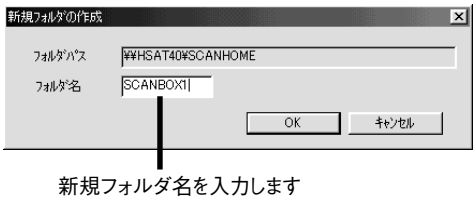


2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
画面は、EPSON という名称のサーバの、SCANHOMEという共有フォルダを選択した例です。

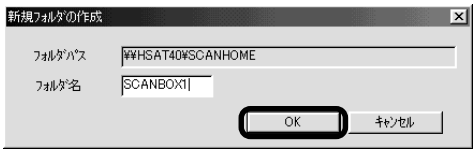


半角英数９文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。

3. 右の画面が表示されます。2で選択した共有フォルダの下層に作成するフォルダ名を、半角英数８文字以内（MS-DOS の 8.3 形式）で入力します。
画面は、SCANHOMEフォルダの下に、SCANBOX1というフォルダを作成する例です。この場合、SCANBOX1と入力します。

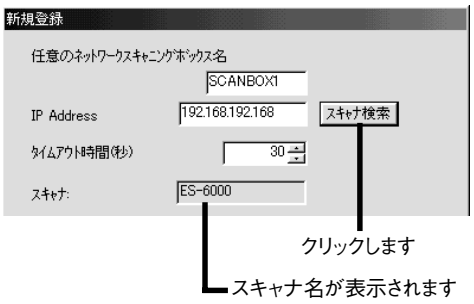


4. OK ボタンをクリックします。



5 ESNSB1（スキャナ）との接続を確認します。スキャナ検索 ボタンをクリックします。

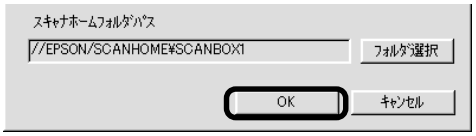
［スキャナ］項目に、ESNSB1 に接続されているスキャナ名が表示されれば正常です。



スキャナ名が表示されずに、エラーメッセージが表示された場合は、さまざまな原因が考えられます。105 ページを参照して対処してください。

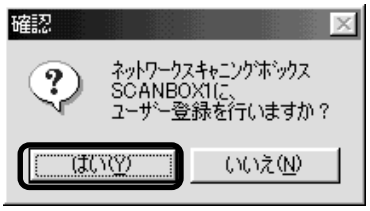
6 OK ボタンをクリックします。

なお、全項目を入力した上で、スキャナ検索に成功しないと、OK ボタンは有効になりません。



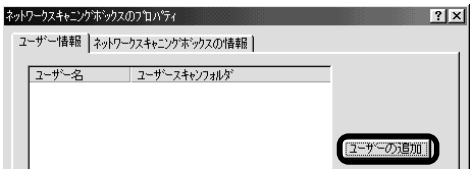
7 右の画面が表示されます。はい ボタンをクリックします。

引き続き、サーバスキャンを利用するユーザーを登録します。



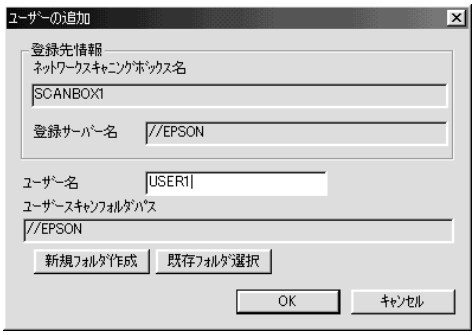
ユーザーの登録

8 ユーザーの追加 ボタンをクリックします。



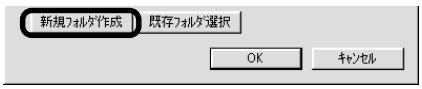
9 ユーザー名と、ユーザースキャンフォルダパスを設定します。

詳細は次ページをご覧ください。

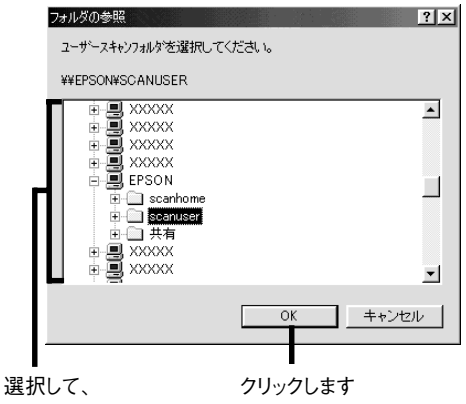


設定項目	説明
ユーザー名	サーバスキャンを利用するユーザー名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。 ユーザーはスキャナ1台につき30人まで登録可能です。 前ページの画面は、USER1と入力した例です。 サーバスキャン実行時、ESNSB1のパネル上でユーザー名を選択します。ここで入力するユーザー名がその時に表示されますので、 ・例えば山田さん用のユーザー名はYAMADAにするなど、ユーザーが自分用のユーザー名であることを理解しやすい名称にしてください。 ・入力した名称をメモしておき、各ユーザーに名称を知らせておいてください。
ユーザースキャンフォルダパス	ユーザースキャンフォルダを作成または選択します。フォルダはユーザーごとに分けてください。ただし、複数のスキャナに同じユーザーを登録する場合は、同じフォルダを指定することもできます。 この後、各ユーザーがプロファイル（取り込み設定ファイル）を作成する際に、ユーザースキャンフォルダを指定する必要があります。（以降の説明例では、EPSONという名称のサーバの、¥SCANUSER¥USER1フォルダを指定する必要があります） また、サーバスキャンしたデータは、ユーザースキャンフォルダに保存されます。そのため、 ・ユーザーごとにフォルダを分ける場合は、例えば山田さん用のフォルダ名はYAMADAにするなど、ユーザーが自分用のフォルダであることを理解しやすい名称にしてください。 ・サーバ名／フォルダ名を51ページ（Windows）または60ページ（NetWare）にメモしておき、各ユーザーに知らせておいてください。

ユーザースキャンフォルダの作成方法

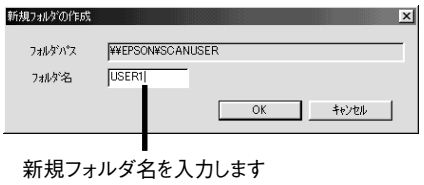
※新規設定の際はこちらを選んでください。	※次の場合はこちらを選んでください。 ・作成済みのユーザースキャンフォルダを他のユーザーも共有する場合 ・コピーシステムのサーバスキャン用ユーザースキャンフォルダと共有する場合
前もって作成した共有フォルダの下層に、新規フォルダを作成する場合	既存の共有フォルダを選択する場合
1. 新規フォルダ作成 ボタンをクリックします。  → 次ページに続く	1. 既存フォルダ選択 ボタンをクリックします。 → 次ページに続く

<table>
<tr><th>前もって作成した共有フォルダの下層に、
新規フォルダを作成する場合</th><th>既存の共有フォルダを選択する場合</th></tr>
<tr><td>
2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
画面は、EPSONという名称のサーバの、SCANUSER という共有フォルダを指定した例です。



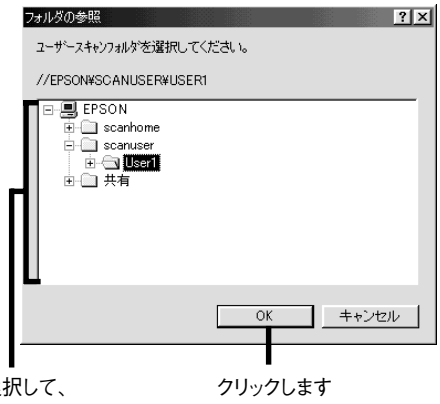
半角英数９文字以上または全角文字で名称が設定されているサーバ/共有フォルダは選択しないでください。

3. 次の画面が表示されます。2で指定した共有フォルダの下層に作成するフォルダ名を、半角英数８文字以内（MS-DOSの8.3形式）で入力します。



画面は、SCANUSER フォルダの下に、USER１というフォルダを作成する例です。この場合、USER1と入力します。

4. OK ボタンをクリックします。
</td><td>
2. サーバ／共有フォルダを選択し、OK ボタンをクリックします。
画面は、EPSON という名称のサーバの、SCANUSER¥USER1という共有フォルダを指定した例です。



この時に次の画面が表示された場合は、ユーザースキャンフォルダの選択が間違っています。再度ユーザースキャンフォルダを確認し、選択し直してください。

3. OK ボタンをクリックします。
</td></tr>
</table>

⑩ OK ボタンをクリックします。

⑪ 右の画面が表示されます。

- 複数のユーザーを登録する場合は、70 ページの⑧～⑩ の手順を繰り返します。
- A3 スキャナ用オプションのオートドキュメントフィーダ（ESA3ADF2）を使用して原稿の両面を取り込む場合は、［ADF - 両面］ タブをクリックし、両面取り込み時の設定を確認します。詳しくは次ページをご覧ください。
- 設定を終了する場合は、OK ボタンをクリックします。

⑫ 最初の画面に戻ります。

これでサーバスキャンの新規設定は終了です。

サーバスキャン実行時は、EPSON Server Scan Agentを起動しておく必要があります。そのため、EPSON Server Scan Agent は終了せず、このままの状態にしておいてください。なお、最小化ボタンをクリックして最小化しておいても構いません。

最小化すると、タスクバーのアイコントレイにアイコン表示されます。
ダイアログボックス表示させるには、アイコンをダブルクリックします。
なお、最小化した状態で起動させることもできます。詳しくは次ページをご覧ください。

ADF での両面取り込み時の設定（A3 スキャナのみ）

［ADF - 両面］画面の設定は、A3 スキャナにオプションのオートドキュメントフィーダ（ESA3ADF2）を装着していて、A4 以下の原稿の両面（表面と裏面）を取り込む場合に有効です。
ESA3ADF2 から原稿の両面を取り込む場合、原稿をセットする向きによっては、裏面が 180°回転した状態で取り込まれます。この画面の設定を有効にすると、180°回転して取り込まれた裏面の画像を、正しい向きに回転します。

ポイント

次の場合は、この画面の設定は無効です。

- **A3 スキャナに ESA3ADF2 を装着していない場合**
- **原稿の片面を取り込む場合**
- **A4 より大きなサイズの原稿を取り込む場合**

ESA3ADF2が正しく接続されていても、この画面がグレー表示されている場合は、次のように対処してください。

① ［ネットワークスキャニングボックスの情報］タブをクリックします。
② 「スキャナ検索」ボタンをクリックし、スキャナを認識させます。
③ 「変更」ボタンをクリックします。これで ESA3ADF2 が認識され、［ADF－両面］画面が有効になります。

設定手順

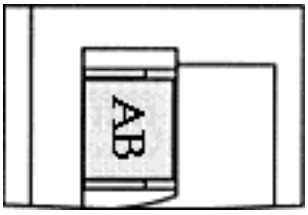
①以降の説明を参照して各項目を設定し、「変更」ボタンをクリックします。
②「OK」ボタンをクリックし、73 ページの⑫に進みます。

A4 以下の原稿で、裏面の向きを表面に合わせる

このチェックボックスをチェックし、かつ、原稿を次ページの図の方向でセットすると、両面取り込み時、画像を正しい向きにそろえます。原稿サイズが A4 以下の場合に有効です。
なお、この機能を有効にすると回転処理を行うため、取り込みに時間がかかります。

原稿のセット方向

この機能を有効にした場合、A4 以下の原稿で両面を取り込む場合は、常に下図のようにセットしてください。（片面を取り込む場合も、下図のようにセットすることをお勧めします）



← 給紙方向

取り込み後の画像

チェックしてある場合	1 頁表	1 頁裏	2 頁表	2 頁裏
チェックを外した場合	1 頁表	1 頁裏	2 頁表	2 頁裏

ポイント

- **回転処理は、取り込んだ画像のデータ容量が大きいほど時間がかかります。**
- **回転処理時間は、Server Scan PC の CPU が高速なほど、またメモリ容量が多いほど、短くなります。**

作業ディスク

画像の回転処理を行うための仮想記憶領域（一時的に使用する領域）を確保するハードディスクを、リストから選択します。これは、Server Scan PC のハードディスクです。

作業ディスクに必要な空き容量は、最低でも取り込む画像の容量以上です。画像データ容量の目安については、22 ページをご覧ください。

空き容量

作業ディスクとして指定したドライブの空き容量が表示されます。

任意用紙サイズについて

この後、各クライアントPCで、EPSON Scan Editorを使用してプロファイルを作成します。
プロファイルには原稿サイズの設定が含まれますが、EPSON Scan Editorで設定できる原稿サイズは、A4・A3・B5・B4サイズです。他のサイズの原稿を使用する場合は、Webブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは119ページをご覧ください。
ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADFから取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

パスワードの設定について

ESNSB1のネットワーク設定に、パスワードを設定しておくことをお勧めします。パスワードを設定しておくと、他のPC上のEPSON Server Scan Agentから、サーバスキャンの設定を変更されることを防止できます。
パスワードはWebブラウザで設定します。詳細は119ページをご覧ください。

EPSON Server Scan Agentの起動モードについて

EPSON Server Scan Agentは、初期設定ではダイアログボックスモードで起動しますが、最小化モードで起動させることもできます。
起動モードの切り替え方法は次の通りです。

＜ダイアログボックスモードでの切替方法＞

＜最小化モードでの切替方法＞

サーバスキャンの設定変更と削除

スキャナやファイルサーバの変更によって設定を変更したり、削除する場合の操作手順を説明します。

ESNSB1 の準備と EPSON Server Scan Agent の起動

1 **スキャナの電源をオンにします。**

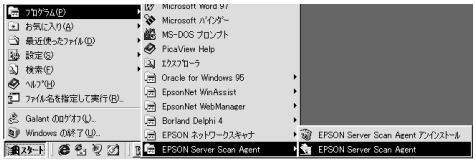
電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

ポイント

他の人がEPSON TWAIN xx Networkでスキャナを使用している間は、EPSON Server Scan Agent での設定が行えませんのでご注意ください。

2 **ServerScan PCとファイルサーバが異なる場合で、ファイルサーバの電源がオフになっている場合は、オンにしておきます。**

3 **EPSON Server Scan Agent を起動します。**

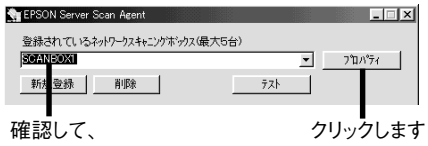


ネットワークスキャニングボックスの情報変更と削除

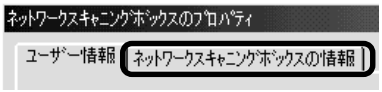
設定変更できる項目	設定を変更するには、現在の設定を削除して登録し直す必要のある項目
・スキャナ ・ネットワークスキャニングボックス名 ・タイムアウト時間 ・ADF 両面取り込みの設定	・スキャナホームフォルダパス （フォルダ自体が削除されます） ・ESNSB1 の IP アドレス

設定変更の仕方

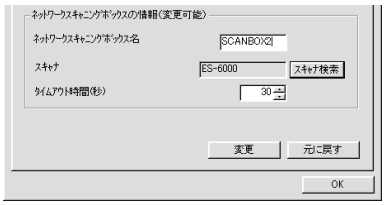
1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、設定変更したいネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティボタンをクリックします。



2. ［ネットワークスキャニングボックスの情報］タブをクリックします。



3. ネットワークスキャニングボックス名またはタイムアウト時間を変更し、変更ボタンをクリックします。
   接続するスキャナを変更した場合は、スキャナ検索ボタンをクリックします。接続されているスキャナ名が表示されたら、変更ボタンをクリックします。
   各項目の詳細については、68ページをご覧ください。



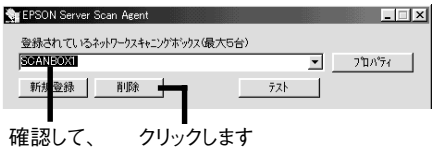
   変更した設定を元に戻したい場合は、元に戻すボタンをクリックしてください。

4. ADF両面取り込みの設定を変更する場合は、［ADF-両面］タブをダブルクリックします。［ADF-両面］画面については、74ページをご覧ください。

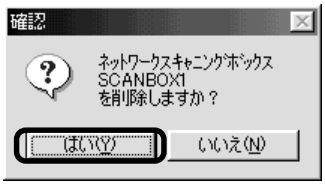
5. OKボタンをクリックすると、1の画面に戻ります。これで設定変更は終了です。

削除の仕方

1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、削除したいネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、削除ボタンをクリックします。



2. 確認画面が表示されます。よければはいボタンをクリックします。



   削除を中止する場合は、いいえボタンをクリックしてください。

3. 1の画面に戻ります。これで削除は終了です。

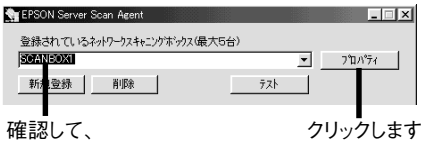
   設定を登録し直す場合は、引き続き、新規登録ボタンをクリックして設定を新規登録してください。詳しくは67ページをご覧ください。

ユーザー情報の変更と削除

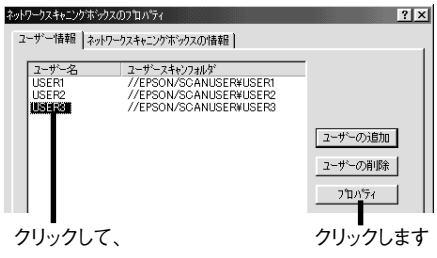
ユーザー情報は、ユーザー名・ユーザースキャンフォルダパスともに、設定変更および削除ができます（フォルダ自体は削除されません）。

設定変更の仕方

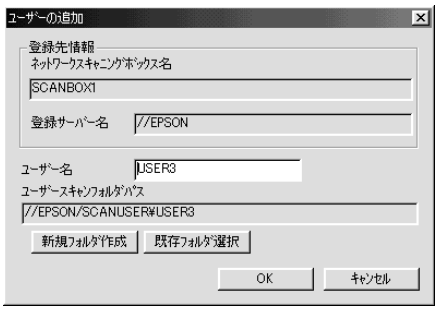
1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、設定変更したいユーザーが登録されているネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティボタンをクリックします。



2. 設定を変更するユーザー名を選択し、プロパティボタンをクリックします。



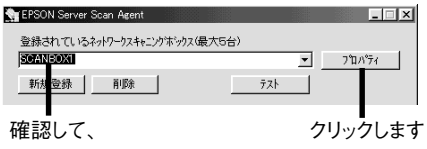
3. ユーザー名またはユーザースキャンフォルダパスを変更し、OKボタンをクリックします。
各項目の詳細については、71ページをご覧ください。



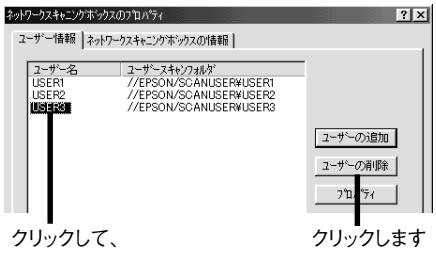
→ 次ページに続く

削除の仕方

1. ［登録されているネットワークスキャニングボックス］リストに、削除したいユーザーが登録されているネットワークスキャニングボックス名が表示されていることを確認し、プロパティボタンをクリックします。



2. 削除するユーザー名を選択し、ユーザーの削除ボタンをクリックします。



3. 確認画面が表示されます。よければはいボタンをクリックします。

削除を中止する場合は、いいえボタンをクリックしてください。

→ 次ページに続く

設定変更の仕方	削除の仕方

4. 次の画面に戻ります。OK ボタンをクリックしてください。

5. 最初の画面に戻ります。これで設定変更／削除は終了です。

サーバスキャンの仕方

ここでは、サーバスキャンの手順を説明しています。

● プロファイルの作成 P.82
● サーバスキャンの仕方 P.90

プロファイルの作成

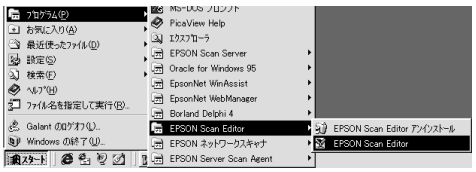
まずクライアントPCで、EPSON Scan Editorを使用してプロファイルを作成します。プロファイルとは、原稿サイズ·色数·解像度などの取り込み設定や、保存先のフォルダ·ファイル形式などを記述しておくファイルのことです。
サーバスキャンでは、EPSON Scan Editorで作成したプロファイルの内容に従って画像の取り込み·保存が実行されます。

作成前の確認事項

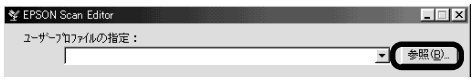
確認事項	確認方法
ユーザースキャンフォルダパス	EPSON Server Scan Agentを使用してサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。
ファイルサーバの電源がオンになっているか	

プロファイルの作成

1 EPSON Scan Editor を起動します。



2 まず、ユーザースキャンフォルダを指定します。 参照 ボタンをクリックします。

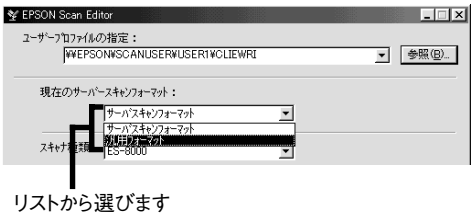


3 ユーザースキャンフォルダを指定し、OK ボタンをクリックします。

画面は、EPSONという名称のサーバの、SCANUSER¥USER1フォルダを指定した例です。

この時に右の画面が表示された場合は、ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。再度ユーザースキャンフォルダを確認し、指定し直してください。

4 画像フォーマットをリストから選びます(下表参照)。

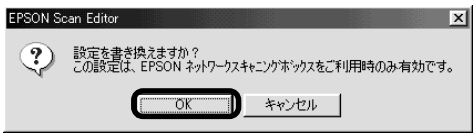


ポイント

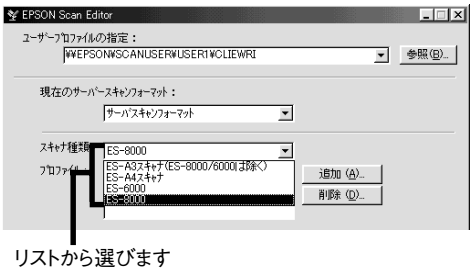
画像フォーマットは、1ユーザーにつき1つのフォーマットのみ選択できます。2つのフォーマットを混在させることはできません。

画像フォーマット	説明
サーバスキャンフォーマット	独自の画像フォーマットです（コピーシステムのサーバスキャンと同じフォーマットです）。 独自フォーマットのため、ファイルを開く時はこのフォーマットに対応したアプリケーションを使用します。詳細は98ページで説明しています。 ADF から取り込む場合は、こちらを選んでください。 なお、複数枚連続で取り込む場合は、全ページが1つのファイルとして取り込まれます。
汎用フォーマット	❽ の設定に従い、汎用的な TIFF または JPEG 形式で保存されます。TIFF または JPEG 形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。 原稿台から取り込む場合は、汎用フォーマットの使用をお勧めします。 なお、ADF からの取り込みでは使用できませんのでご注意ください。

画像フォーマットを変更すると右の画面が表示されますので、OK ボタンをクリックしてください。



5 お使いのスキャナをリストから選びます。



ポイント

- ES-6000H/ES-6000HS をお使いの場合は、ES-6000 を選んでください。
- お使いの機種名がない場合は、スキャナのサイズに応じて［ES-A3 スキャナ（ES-8000/6000 は除く）］または［ES-A4 スキャナ］を選んでください。

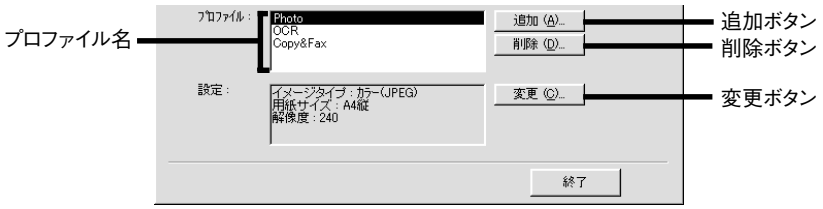
6 プロファイルを作成します。

プロファイルは、次の 3 種類の設定があらかじめ用意されています。

設定項目＼プロファイル名	Photo	OCR	Copy & Fax
イメージタイプ	カラー（JPEG）	白黒 OCR 用	白黒ハーフトーン
用紙サイズ	A4 縦	A4 縦	A4 縦
解像度	240dpi	300dpi	200dpi

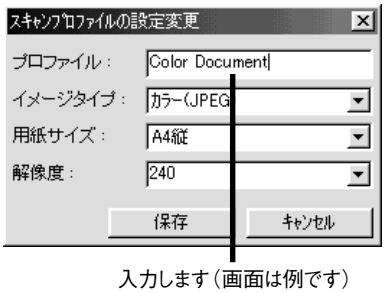
用紙サイズと解像度は、サーバスキャン実行時も指定可能です。そのため、

- 希望のイメージタイプ（取り込む画像の色数）が 3 種類の設定と異なる場合は、追加 ボタンをクリックして❼に進んでください。
- 希望のイメージタイプがあらかじめ用意されている設定と同じ場合は、プロファイルを作成しなくても構いません。しかし文書の電子ファイル化など、特定の用途があれば、用紙サイズと解像度をその用途に適した設定に変えておくと便利です。設定変更する場合は、変更したいプロファイル名を選択し、変更 ボタンをクリックして❽に進んでください。
- 登録できるプロファイルは4つまでです。プロファイルを2つ以上追加登録したい場合は、どれかのプロファイルを削除してください。削除するには、削除したいプロファイル名を選択し、削除 ボタンをクリックします。削除の確認画面が表示されますので、はい ボタンをクリックしてください。
  キャンセル ボタンをクリックすると、削除を中止します。



7 プロファイル名を、半角英数カナ15文字以内で入力します。

既存のプロファイルを設定変更する場合、プロファイル名は修正できません（グレー表示されます）。

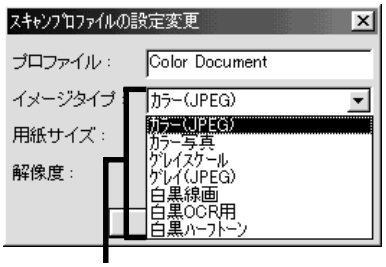


入力します（画面は例です）

ポイント

サーバスキャンを実行する時に、ここで入力したプロファイル名をESNSB1のパネル上で選択します。そのため、プロファイル名は覚えておいてください。

8 下表を参照し、イメージタイプ(取り込む画像の色数の設定)をリストから選びます。



イメージタイプ名	ファイル形式	説明
カラー（36）（ES-8000 のみ）	TIFF	687 億色（36bit）のカラーで取り込みます。データ容量が多くなるため、通常は選択しないでください。
カラー（JPEG）	JPEG	1,677 万色（24bit）のカラーで取り込みます。カラー原稿の場合、この設定で十分な画質が得られます。
カラー写真	TIFF	
グレイスケール	TIFF	256 階調で、白黒写真のように取り込みます。
グレイ（JPEG）	JPEG	
白黒線画	TIFF	図面や線で描いたイラストを取り込む場合に選択します。白黒2値（白か黒）のデータで取り込みます。
白黒 OCR 用	TIFF	文字原稿を取り込む場合に選択します。白黒2値（白か黒）のデータで取り込みます。背景色は除去して文字のみ抽出します。
白黒ハーフトーン	TIFF	文字と画像が混在している原稿を取り込む場合に選択します。文字は白黒2値、画像部分は疑似中間調処理をして取り込みます。コピーや FAX 送信用画像の取り込みにお使いください。

保存されるファイル形式は、イメージタイプの設定によって決まります。

- カラー（JPEG）／グレイ（JPEG）の場合
  JPEG形式で圧縮して保存されます。画質は多少劣化しますが、データ容量が小さくなり、ファイルサーバのハードディスク使用量を節約できます。
  画質がそれほど重要でない場合は、JPEG 形式にすることをお勧めします。
- そのほかのイメージタイプの場合
  TIFF 形式で保存されます。JPEG形式と比較するとデータ容量が大きくなりますが、画質は劣化しません。

保存されるファイルの拡張子は次のようになります。なお、❹でサーバスキャンフォーマットを選択した場合は、❽でTIFFとJPEGのどちらを選択しても、独自の画像フォーマットになります。

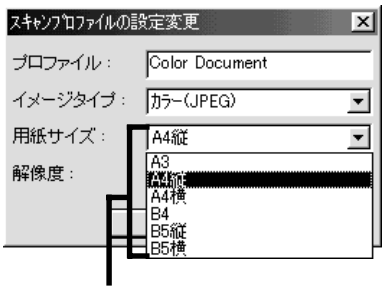
❹での選択	❽で選択したファイル形式	拡張子
サーバスキャンフォーマット	TIFF	000
	JPEG	000
汎用フォーマット	TIFF	tif
	JPEG	jpg

ポイント

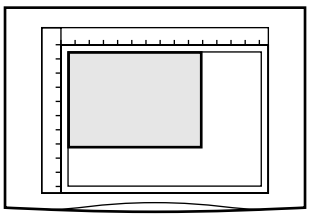
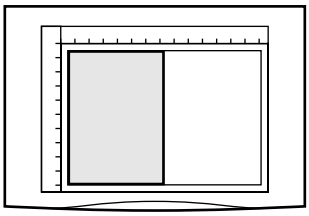
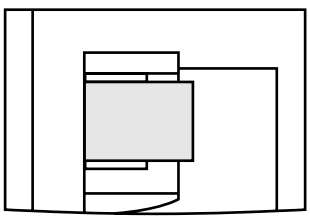
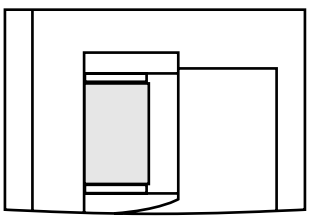
以降では、用紙サイズと解像度の設定を説明しますが、これらはサーバスキャン実行時も指定可能です。そのため、これらの設定はデフォルトのままでも構いませんが、文書の電子ファイル化など、特定の用途があれば、その用途に適した設定にしておくと便利です。

❾ 用紙サイズを選びます。

用紙サイズは、スキャナの機種によって選択肢が異なります。
A3スキャナにA4またはB5サイズの原稿をセットする場合は、下表を参照して選択してください。



リストから選びます

	A4縦・B5縦	A4横・B5横
原稿台		
ADF	 ※原稿の位置は、ADFの機種によって多少異なります。	

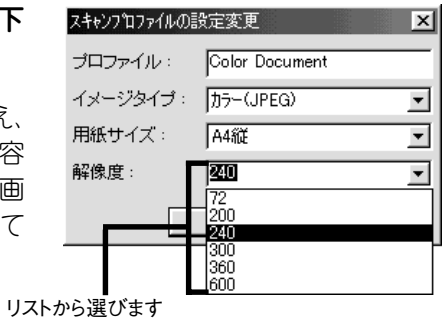
ポイント

- サーバスキャンを実行する時は、ここで設定した向きで原稿をセットしてください。
- リストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合は、Webブラウザで任意用紙サイズを登録してください。詳しくは 119 ページをご覧ください。
  ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

10

リストから解像度を選びます（下表参照）。

解像度が高いほどデータ容量が増え、ファイルサーバのハードディスク空き容量が減ります。そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切に設定してください。



解像度設定の目安は次の通りです。リストに希望の数値がない場合は、その数値を入力してください。入力できる範囲は50～1200dpiですが、不必要に高い数値を入力しないでください。

解像度	用途
72dpi	壁紙などのディスプレイ表示用画像や、ホームページ用画像を取り込む場合に選んでください。
200dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合 ・レーザープリンタで印刷する場合 ・FAX送信用画像を取り込む場合
300dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSON カラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合 ・文字原稿を取り込んでOCR（光学文字認識）にかける場合 ・図面や線で描いたイラストを取り込む場合（標準の画質で良い場合）
360dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合に選んでください。
600dpi	図面や線で描いたイラストを取り込む場合（詳細な画質が必要な場合）に選んでください。
720dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。
800dpi	拡大印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。

11 保存 ボタンをクリックし、設定を保存します。

12 右の画面に戻ります。

- 複数のプロファイルを登録する場合は、4〜11の手順を繰り返します。
- プロファイルの作成を終了する場合は、 終了 ボタンをクリックし、EPSON Scan Editorを終了します。

コピーシステムをお持ちの方へ

お持ちのコピーシステムがサーバスキャン機能を備えている場合、EPSON Scan Editorでコピーシステムのサーバスキャン用プロファイル（操作パネルのプリセットボタンを押した時に表示されるユーザーパラメータ）を作成することができます。
ただし、画像フォーマットの指定は無効です。コピーシステムのサーバスキャンでは、サーバスキャンフォーマット固定になります。

サーバスキャンの仕方

サーバスキャン実行前の確認事項

サーバスキャンをはじめる前に、次のことを確認しておいてください。

確認事項	確認方法
自分用のユーザー名	EPSON Server Scan Agent を使用してサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。
これから取り込みに使用するプロファイル名	あなたが EPSON Scan Editor で設定したプロファイル名／セット方向です。 忘れてしまった場合は、EPSON Scan Editor を起動して確認してください。 ただし、原稿のセット方向は、サーバスキャン実行時にも指定可能です。
A3 スキャナに A4 または B5 サイズの原稿をセットする場合は、セットする方向	
EPSON Scan Editor のリストに表示されないサイズの原稿を取り込む場合、Web ブラウザで任意用紙サイズを登録してあるか	Web ブラウザを起動して確認してください。詳しくは 119 ページをご覧ください。

ご注意

ESNSB1 のパネルに右のように表示されている時は、他のユーザーが EPSON TWAIN xx Network（スキャナ）を使用しています。
XXX.XXX.XXX.XXX は、接続しているクライアント PC の IP アドレスです。

<ユーザー セツゾク チュウ>
XXX. XXX. XXX. XXX

この時はサーバスキャンを実行できませんので、EPSON TWAIN xx Network が終了され、ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されるまでお待ちください。
なお、パネルに上のように表示されている時は、次のキーを押さないでください。

ストップ キー：
EPSON TWAIN xx Network の接続を強制解除してしまいます。

スタート キー：
EPSON TWAIN xx Network での取り込みがはじまってしまいます。

サーバスキャンの実行

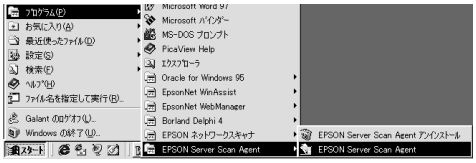
スキャナ／ESNSB1の準備

1 **スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。**

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1の電源も連動してオンになります。下側に設定してある場合は、ACアダプタを接続してください。ESNSB1のパネルに<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ>と表示されれば、準備完了です。

ファイルサーバとServerScan PCの準備

2 **ファイルサーバの電源がオンになっていることを確認し、ServerScan PCでEPSON Server Scan Agentを起動します。**



EPSON Server Scan Agentのインストール時、[スタートアップにEPSON Server Scan Agentショートカットアイコンを登録する]ように設定した場合は、ServerScan PCを起動するとEPSON Server Scan Agentも自動的に起動します。この場合、

- 上の画面の手順で起動する必要はありません。
- 下の画面が表示されていない場合は、最小化(タスクバー表示)されていないか確認してください(73ページ参照)。

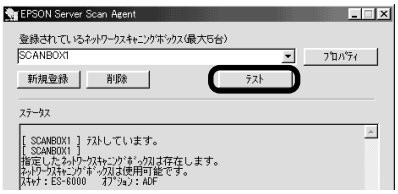
右の画面が表示されます。EPSON Server Scan Agentは、起動したままにしておいてください。

ネットワークスキャニングボックス(ESNSB1)が複数台ある場合は、使用するネットワークスキャニングボックスをリストから選びます。

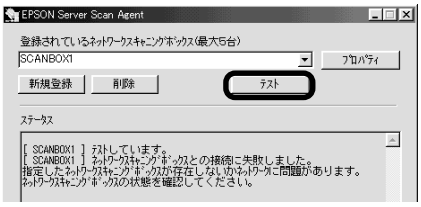
EPSON Server Scan Agentの接続テスト機能について

EPSON Server Scan Agentの テスト ボタンをクリックすると、ネットワークスキャニングボックス(ESNSB1)の接続テストを行い、［ステータス］項目にテスト結果が表示されます。サーバスキャン実行前に、接続をテストしておくことをお勧めします。

＜正常な例＞



＜エラーが発生した例＞

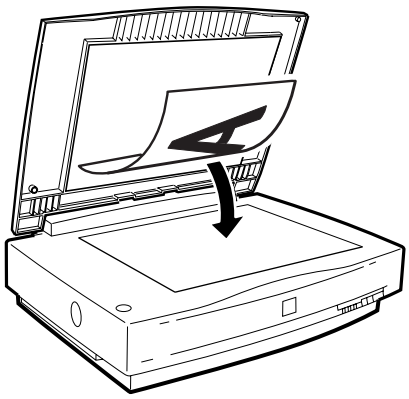


この場合は、105ページを参照して対処してください。

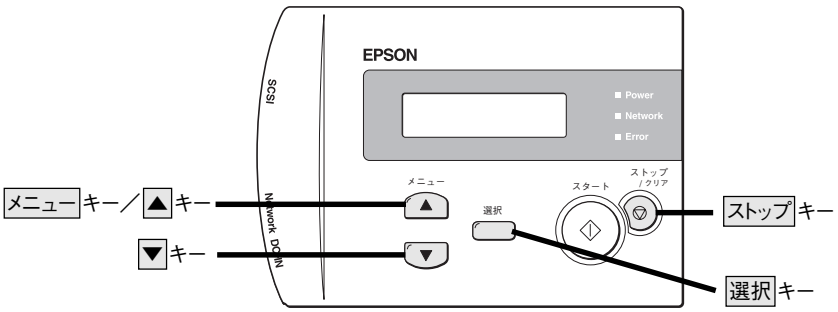
原稿のセット

❸ スキャナに原稿をセットします。

A3スキャナにA4またはB5サイズの原稿をセットする場合は、プロファイル作成時に設定した方向でセットしてください。ただし、原稿のセット方向は、この後にも指定可能です。
図はES-6000HSの例です。セット方法の詳細は、お使いのスキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。



サーバスキャンの実行



4 **メニュー キーを1回押し、LCDパネルに右のように表示させます。**

```
<ﾒﾆｭｰ ｾﾝﾀｸ>
ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ?
```

以降、サーバスキャンを中止する場合や、設定をやり直したい場合は、ストップキーを押してください。ストップキーを押すごとに、1つ前のメニューに戻ります。

5 **選択 キーを押します。**

LCD パネルに右のように表示され、ServerScanPC に接続されます。

```
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ>
ｻｰﾊﾞ ﾆ ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ
```

ポイント

LCDパネルの表示がいつまでも変わらない場合や、エラーメッセージが表示される場合は、106 ページを参照して対処してください。

6 **ServerScanPC に接続されると、<ﾕｰｻﾞｰ ｾﾝﾀｸ>画面が表示されます。**

複数のユーザーが登録されている場合は、▼ キーと ▲ キーでユーザー名を切り替え、自分用のユーザー名を表示させます。表示させたら、選択 キーを押します。

```
<ﾕｰｻﾞｰ ｾﾝﾀｸ>
User1
```

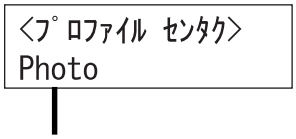
自分用のユーザー名を表示させます

ポイント

自分用のユーザー名は、EPSON Server Scan Agent を使用してサーバスキャンの設定を行った方に確認してください。

7 <ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ｾﾝﾀｸ> 画面が表示されます。ここにはEPSON Scan Editorで登録済みのプロファイル名が表示されます。

▼ キーと ▲ で取り込みに使用するプロファイル名を表示させ、選択 キーを押します。

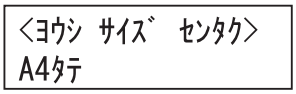


ポイント

EPSON Scan Editorで登録したプロファイルが表示されない場合は、107ページを参照して対処してください。

8 <ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ｾﾝﾀｸ> 画面が表示されます。

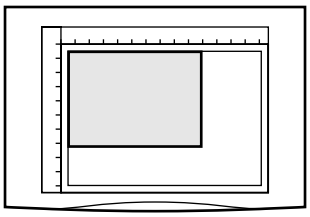
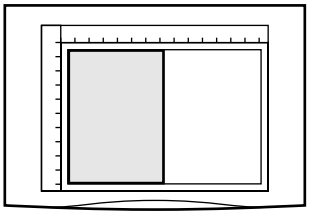
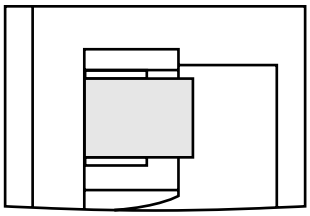
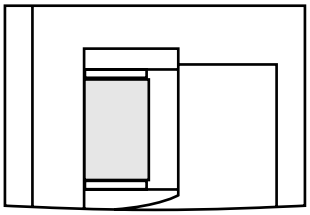
一時的に用紙サイズを変更して取り込むことができます。



- 最初に、選択したプロファイルで設定されているサイズが表示されます（設定によっては他のサイズが表示されます）。このサイズの原稿を取り込む場合は、選択 キーを押して次の手順に進んでください。
- サイズの違う原稿を取り込む場合は、▼ キーと ▲ キーで目的のサイズを表示させ、選択 キーを押します。
- 選択肢はスキャナの機種によって異なります。
- ES-9000Hをお使いの場合は、標準の用紙サイズ以外に、ｼﾞﾄﾞｳが表示されます。ここで 選択 キーを押すと、原稿のサイズが自動検知されます。
- Web ブラウザで任意用紙サイズを登録してある場合は、標準の用紙サイズ以外に、任意用紙サイズも表示されます。
  ただし、任意用紙サイズの設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADFから取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

ポイント

- A3スキャナにA4またはB5サイズの原稿をセットした場合は、次ページの表を参照して選択してください。
- Webブラウザで登録した任意サイズの原稿をセットした場合、縦横の向きについては、124ページの表をご覧ください。

	A4ﾀﾃ・B5ﾀﾃ	A4ﾖｺ・B5ﾖｺ
原稿台		
ADF	 ※原稿の位置は、ADFの機種によって多少異なります。	

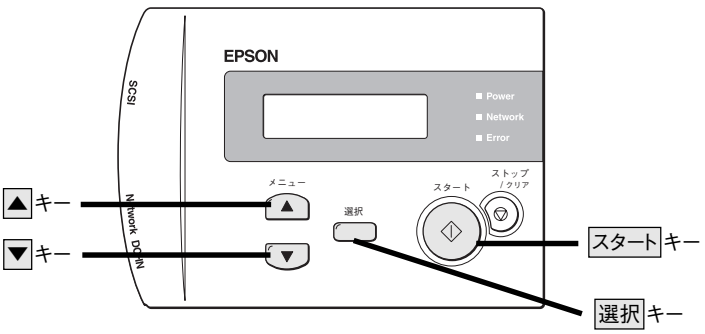
9

<ｶｲｿﾞｳﾄﾞ ｾﾝﾀｸ> 画面が表示されます。

一時的に解像度を変更して取り込むことができます。

```
〈ｶｲｿﾞｳﾄﾞ ｾﾝﾀｸ〉
  72 dpi
```

- 最初に、選択したプロファイルで設定されている解像度が表示されます。この解像度で取り込む場合は、選択 キーを押して次の手順に進んでください。
- 解像度を変更して取り込む場合は、▼ キーと ▲ キーで目的の解像度を表示させ、選択 キーを押します。



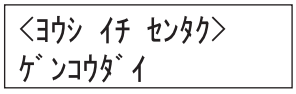
解像度が高いほどデータ容量が増え、ファイルサーバのハードディスク空き容量が減ります。 そのため、取り込む画像の用途に合わせて、適切に設定してください（次ページの表参照）。

解像度	用途
72dpi	壁紙などのディスプレイ表示用画像や、ホームページ用画像を取り込む場合に選んでください。
200dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合 ・レーザープリンタで印刷する場合 ・FAX 送信用画像を取り込む場合
300dpi	次の場合に選んでください。 ・写真を取り込み、EPSON カラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合 ・文字原稿を取り込んで OCR（光学文字認識）にかける場合 ・図面や線で描いたイラストを取り込む場合（標準の画質で良い場合）
360dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでファイン印刷する場合に選んでください。
600dpi	図面や線で描いたイラストを取り込む場合（詳細な画質が必要な場合）に選んでください。
720dpi	白黒の線画を取り込み、EPSONカラーインクジェットプリンタでフォト／スーパーファイン印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。
800dpi	拡大印刷する場合に選んでください。スキャナによっては表示されません。

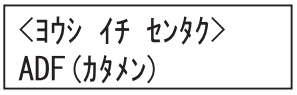
10

スキャナにオプションの ADF を装着していて、サーバスキャンフォーマットを選んでいる場合は、<ﾖｳｼ ｲﾁ ｾﾝﾀｸ>画面が表示されます。▼ キーと ▲ キーで原稿の位置を切り替え、選択 キーを押します。

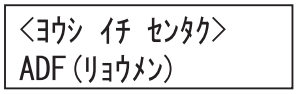
原稿台に置いた原稿を取り込む場合：
ｹﾞﾝｺｳﾀﾞｲ を選択



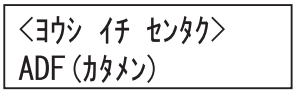
A3 スキャナの ADF から片面原稿を取り込む場合：
ADF(ｶﾀﾒﾝ) を選択



A3 スキャナの ADF から両面原稿を取り込む場合：
ADF(ﾘｮｳﾒﾝ) を選択



A4 スキャナの ADF から取り込む場合：
ADF(ｶﾀﾒﾝ)を選択



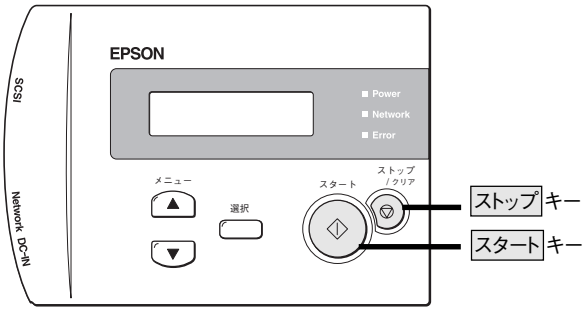
ポイント

ADF を装着していても<ﾖｳｼ ｲﾁ ｾﾝﾀｸ>画面が表示されない場合は、107 ページを参照して対処してください。

11

<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ> 画面に戻ります。[スタート] キーを押してサーバスキャンを開始します。

```
〈ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ〉
[ｽﾀｰﾄ]ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```



12

サーバスキャン実行中は、右のように進行状況が表示されます。

```
〈ｽｷｬﾝ ｼﾃｲﾏｽ〉
 ==〉 XX%
```

⇩

```
〈ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ〉
ｻｰﾊﾞｰﾆ ｾﾂｿﾞｸﾁｭｳ
```

⇩

サーバスキャンが終了すると、11 の画面に戻ります。

```
〈ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ〉
[ｽﾀｰﾄ]ﾖ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

- 他の原稿を続けて取り込む場合は、原稿をセットし直して [スタート] キーを押します。この時、設定を変えて取り込みたい場合は、[ストップ] キーを押してください。[ストップ] キーを押すごとに、1 つ前の手順に戻ります。
- サーバスキャンを終了する場合は、何も押さずに放置しておいてください。1 分経過すると、<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> 画面に戻ります。

サーバスキャンしたデータの開き方

汎用フォーマットの画像を開く場合

汎用フォーマットでスキャンした画像は、TIFF または JPEG 形式に対応している市販のアプリケーションで開くことができます。
サーバスキャンした画像は、ユーザスキャンフォルダの中の［Scanwri］フォルダに保存されています。

サーバスキャンフォーマットの画像を開く場合

サーバスキャンフォーマットでスキャンした画像は、特殊なファイル形式で保存されます。そのため、この画像を開く時は、サーバスキャン機能に対応したアプリケーションを使用してください。
サーバスキャンした画像は、ユーザスキャンフォルダの中の［Scanwri］フォルダに保存されています。
サーバスキャン機能対応アプリケーションについては、エプソンのホームページをご覧いただくか、またはエプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。
ホームページのアドレスは次の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp/guide/scanner/index.htm

インフォメーションセンターの連絡先については、裏表紙をご覧ください。

EPSON ScanPalette について

スキャナに、TWAIN 対応アプリケーション［EPSON ScanPalette］が付属している場合、このアプリケーションでサーバスキャンフォーマットの画像を開くことができます。

EPSON ScanPalette では、ファイルサーバ上のフォルダ（ユーザースキャンフォルダ）へのショートカットを作成することができますので、スキャンした画像に素早くアクセスすることができ便利です。
EPSON ScanPalette の詳細については、EPSON ScanPalette の取扱説明書をご覧ください。

困ったときは

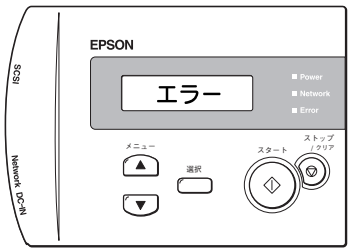
ここでは、困ったときの対処方法を説明しています。

● トラブルが発生したら P.100
● ESNSB1 本体のトラブル P.102
● サーバスキャンのトラブル P.105
● パスワードを忘れた時の対処方法 P.109
● ソフトウェアの再インストール..... P.110
● サポートのご案内 P.112

トラブルが発生したら

現在の症状がどれに当てはまるかを次の中から選び、それぞれの参照先をご覧ください。

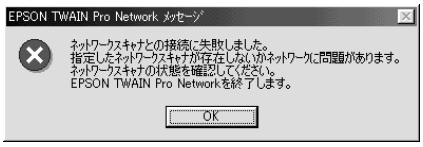
ESNSB1 本体のトラブル

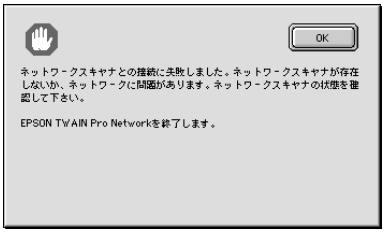


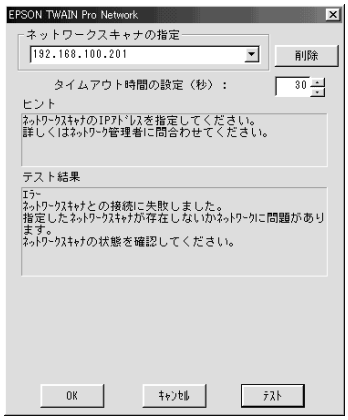
ESNSB1 のパネルにエラーが出る、ESNSB1 がネットワークで認識されないなどの対処方法を説明しています。

→ 102 ページ

EPSON TWAIN xx Network のトラブル







EPSON TWAIN xx Networkインストール後の接続設定でエラーが出る、またEPSON TWAIN xx Networkの起動時や使用時にエラーが出る場合の対処方法を説明しています。

→スキャナに付属のネットワークガイド「困ったときは」

※ネットワークガイドに、スキャナサーバまたはEPSON Scan Serverという言葉がある場合は、ESNSB1と読み替えてください。

サーバスキャンのトラブル

EPSON Server Scan AgentやEPSON Scan Editorでの設定時にエラーが出るなどの対処方法を説明しています。

→ 105 ページ

ポイント

次の場合は、スキャナに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 取り込んだ画像の品質上のトラブル(取り込んだ画像が暗い、色がおかしい、斑点のような模様が生じるなど)
- オプション使用時のトラブル(透過原稿ユニットから取り込んだ画像がおかしい、ADF での紙詰まりなど)

⚠注意

次のような場合は故障と思われますので、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご連絡ください。

- ESNSB1 が極端に発熱する(非常に温度が高い)、ケースに変形が起こる
- 変な臭いや音がする、煙が出る
- ESNSB1 の Error ランプが消灯しない

内部には高圧回路があるため、絶対に分解しないでください。

ESNSB1 本体のトラブル

エラーメッセージ

エラーメッセージ	対処
<ｽｷｬﾅ ｶﾞﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ>	次のことを確認してください。 ①スキャナの電源がオンになっているか ②SCSI ケーブルがしっかり接続されているか（特にスキャナ側） ③スキャナは EPSON ES シリーズか
<IPｱﾄﾞﾚｽ ｴﾗｰ> ﾌｾｲﾅ ｱﾄﾞﾚｽ ﾃﾞｽ	IP アドレスには、000.000.000.000 と 255.255.255.255 は設定できません。他の値を設定してください（31 ページ参照）。
<ｽｷｬﾅ ｴﾗｰ>	スキャナとESNSB1の電源をオフにし、SCSIケーブルの接続を確認してください。 頻繁に発生するようなら、スキャナまたはESNSB1の故障、あるいはSCSIケーブルの断線などが考えられます。エプソンの修理窓口にご相談ください。
<ｻｰﾊﾞ ｾｯﾃｲ ｴﾗｰ> ｾｯﾃｲ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	サーバスキャンの設定がされていません。67 ページを参照して設定してください。
<ｻｰﾊﾞ ｱｸｾｽ ｴﾗｰ> ｻｰﾊﾞ ｶﾞ ﾐﾂｶﾘ ﾏｾﾝ	次のことを確認してください。 ① ファイルサーバおよび、ServerScan PCの電源がオンになっているか（ログオンしているか） ② ServerScan PC で、EPSON Server Scan Agent が起動されているか（91 ページ参照） ③ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1・HUB それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1 それぞれで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31 ページ参照） ⑤ HUB が正常に動作しているか。なお、ESNSB1 の Ethernet 設定が AUTO（10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動認識）の場合、HUB によっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用の HUB に合わせて ESNSB1 の Ethernet 設定を 10BASE-T または 100BASE-TX 固定にしてください（31 ページ参照）。 ⑥ ネットワークケーブルが断線していないか
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ﾕｰｻﾞｰ ｼﾞｮｳﾎｳ ｴﾗｰ	EPSON Server Scan Agentで、ユーザーが正しく登録されているか確認してください（67 ページ参照）。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ｴﾗｰ	EPSON Scan Editorで、プロファイルが正しく登録されているか確認してください（82 ページ参照）。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ｽｷｬﾝﾆ ｼｯﾊﾟｲｼﾏｼﾀ	サーバスキャンの操作をもう一度やり直してください。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ｽｷｬﾝ ｼﾞｮｳｹﾝ ｴﾗｰ	ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）が不足しているため、画像を保存することができません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）を増やしてください。目安として、カラー・A3・600dpi で 210MB 以上、カラー・A3・1200dpi で 840MB 以上の空き容量が必要です。

ランプ表示

ランプ表示	対処
Network ランプ（黄色）が消灯している	次のことを確認してください。 ① ESNSB1 とHUB に、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ② ESNSB1 で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31 ページ参照） ③ HUB が正常に動作しているか。なお、ESNSB1 の Ethernet設定がAUTO（10BASE-T／100BASE-TX 自動認識）の場合、HUB によっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用の HUB に合わせて ESNSB1 の Ethernet 設定を 10BASE-T または 100BASE-TX 固定にしてください（31 ページ参照）。 ④ ネットワークケーブルが断線していないか
Error ランプ（赤）が点滅または点灯する	ESNSB1 の電源を再投入してください。 頻繁に発生する場合は、エプソンの修理窓口にご相談ください。

AC アダプタを接続しても電源が入らない

①電源連動切替スイッチが上側（連動 ON）になっている場合は、スキャナの電源をオンにしてください（29 ページ参照）。

②SCSI ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。（特にスキャナ側の接続を確認してください）

ESNSB1 がネットワークで認識されない

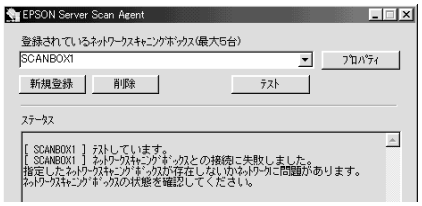
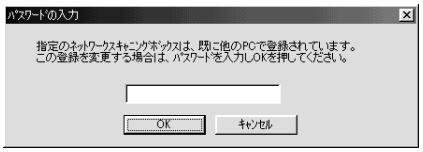
内容	対処
・EPSON TWAIN xx Network の接続テストでエラーが出る ・EPSON TWAIN xx Network の起動時にエラーが出る ・EPSON Server Scan Agent の接続テストでエラーが出る ・ping コマンドでタイムアウトになる ・EpsonNet WebAssist を起動できない	次のことを確認してください。 ① ESNSB1 とスキャナの電源がオンになっているか ② ESNSB1 でエラーが発生していないか ③ ESNSB1、HUB、PC それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ PC 側で、ESNSB1 の IP アドレスを間違って入力していないか ⑤ ESNSB1 および PC で、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31 ページ参照） ⑥ HUB が正常に動作しているか。なお、ESNSB1 の Ethernet 設定が AUTO（10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動認識）の場合、HUB によっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用の HUB に合わせて ESNSB1 の Ethernet 設定を 10BASE-T または 100BASE-TX 固定にしてください（31 ページ参照）。 ⑦ ネットワークケーブルが断線していないか

漏洩電流について

本機は、社団法人 電子情報技術産業協会（社団法人 日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しています。
しかし、多数の電子機器を接続している環境下では、本機に触れた際に電気を感じることがあります。
このような時には、本機を接続している機器などからアース（接地）を取ることをお勧めします。

サーバスキャンのトラブル

サーバスキャン設定時のエラー

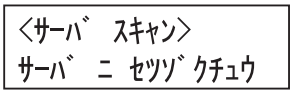
内容	対処
EPSON Server Scan Agentの［スキャナ検索］ボタンまたは［テスト］ボタンを押した時にエラーが出る  	次のことを確認してください。 ① ESNSB1とスキャナの電源がオンになっているか ② ESNSB1でエラーが発生していないか ③ ESNSB1、HUB、ServerScan PCそれぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ EPSON Server Scan Agentで、ESNSB1のIPアドレスを間違って入力していないか（68ページ参照） ⑤ ESNSB1およびServerScan PCで、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31ページ参照） ⑥ HUBが正常に動作しているか。なお、ESNSB1のEthernet設定がAUTO（10BASE-T／100BASE-TX自動認識）の場合、HUBによっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用のHUBに合わせてESNSB1のEthernet設定を10BASE-Tまたは100BASE-TX固定にしてください（31ページ参照）。 ⑦ ネットワークケーブルが断線していないか
スキャナホームフォルダまたは、ユーザースキャンフォルダの指定時にエラーが出る 	スキャナホームフォルダ作成時： 他のネットワークスキャナ用のスキャナホームフォルダは指定できません。他のフォルダを指定してください。 ユーザスキャンフォルダ選択時： ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。フォルダを確認し、指定し直してください。
EPSON Server Scan Agentの［スキャナ選択］ボタンを押した時に、パスワード入力画面が出る 	他のPC上のEPSON Server Scan Agentで、既にサーバスキャンの設定がされており、設定を続けると他のPCの設定が上書きされます。 上書きしてよければ、パスワードを入力して OK ボタンをクリックしてください。パスワードは、Webブラウザユーティリティのパスワードと同じです（119ページ参照）。 上書きしない場合は、 キャンセル ボタンをクリックして設定を中止してください。

プロファイル作成時のエラー

エラーメッセージ	対処
Aprofile.ini ファイルが見つかりませんでした。 	① ユーザースキャンフォルダの指定が間違っています。EPSON Server Scan Agentでサーバスキャンの設定を行った方にユーザースキャンフォルダを確認し、指定し直してください。 ② サーバスキャンの設定がされていません。67ページを参照して設定してください。

サーバスキャン実行時のトラブル

右の表示が長く続く



次のことを確認してください。

① ファイルサーバおよび、ServerScan PC の電源がオンになっているか（ログオンしているか）

② ServerScan PC で、EPSON Server Scan Agent が起動されているか（91ページ参照）

③ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1・HUB それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか

④ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1 それぞれで、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31ページ参照）

⑤ HUB が正常に動作しているか。なお、ESNSB1 の Ethernet 設定が AUTO（10BASE-T／100BASE-TX自動認識）の場合、HUB によっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用の HUB に合わせて ESNSB1のEthernet設定を 10BASE-Tまたは 100BASE-TX固定にしてください（31ページ参照）。

⑥ ネットワークケーブルが断線していないか

作成したプロファイルが表示されない

作成したプロファイルの、スキャナの選択が間違っています。 正しいスキャナを選択してください（82 ページ参照）。

- ES-6000H/ES-6000HS をお使いの場合は、ES-6000 を選んでください。
- お使いの機種名がない場合は、スキャナのサイズに応じて［ES-A3 スキャナ（ES-8000/6000 は除く）］または［ES-A4 スキャナ］を選んでください。

ADF を装着していても <ﾖｳｼ ｲﾁ ｾﾝﾀｸ> 画面が表示されない

① EPSON Scan Editorで、サーバスキャンフォーマットを選んでください（83ページ参照）。汎用フォーマットを選んでいるとADFからの取り込みができないため、<ﾖｳｼ ｲﾁ ｾﾝﾀｸ> 画面は表示されません。

② スキャナを変更すると、ADF からスキャンできなくなる場合があります。スキャナを変更した場合は、EPSON Server Scan Agent でスキャナを選択し直してください（77 ページ参照）。

ADF で両面をサーバスキャンしても、裏面の画像が 180 度回転しない（A3 スキャナのみ）

この場合は、次のことを確認してください。

① EPSON Server Scan Agent の［ADF- 両面］画面が有効になっているか無効（グレー表示）になっている場合は、次のように対処してください。
- ADF が正しく接続されていることを確認してください。
- EPSON Server Scan Agentで、スキャナを選択し直してください（77ページ参照）

② EPSON Server Scan Agent の［ADF- 両面］画面で、［A4 以下の原稿で、裏面の向きを表面に合わせる］がチェックされているか（74 ページ参照）

③ スキャナや ADF を変更していないか
スキャナや ADF を変更すると、ADF を誤認識する場合があります。この場合は、EPSON Server Scan Agent でスキャナを選択し直してください。（77 ページ参照）

エラーメッセージ

エラーメッセージ	対処
<ｻｰﾊﾞ ｾｯﾃｲ ｴﾗｰ> ｾｯﾃｲ ｻﾚﾃ ｲﾏｾﾝ	サーバスキャンの設定がされていません。67 ページを参照して設定してください。
<ｻｰﾊﾞ ｱｸｾｽ ｴﾗｰ> ｻｰﾊﾞ ｶﾞ ﾐﾂｶﾘ ﾏｾﾝ	次のことを確認してください。 ① ファイルサーバおよび、ServerScan PCの電源がオンになっているか（ログオンしているか） ② ServerScan PC で、EPSON Server Scan Agentが起動されているか（91 ページ参照） ③ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1・HUB それぞれに、ネットワークケーブルがしっかり接続されているか ④ ファイルサーバ・ServerScan PC・ESNSB1 それぞれで、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスが正しく設定されているか（31 ページ参照） ⑤ HUB が正常に動作しているか。なお、ESNSB1 の Ethernet 設定が AUTO（10BASE-T ／ 100BASE-TX 自動認識）の場合、HUB によっては自動認識が正常に動作しない場合があります。この場合は、ご使用の HUB に合わせて ESNSB1 の Ethernet 設定を 10BASE-T または 100BASE-TX 固定にしてください（31 ページ参照）。 ⑥ ネットワークケーブルが断線していないか
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ﾕｰｻﾞｰ ｼﾞｮｳﾎｳ ｴﾗｰ	EPSON Server Scan Agent で、ユーザーが正しく登録されているか確認してください（67 ページ参照）。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ﾌﾟﾛﾌｧｲﾙ ｴﾗｰ	EPSON Scan Editor で、プロファイルが正しく登録されているか確認してください（82 ページ参照）。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ｽｷｬﾝﾆ ｼｯﾊﾟｲｼﾏｼﾀ	サーバスキャンの操作をもう一度やり直してください。
<ｻｰﾊﾞ ｽｷｬﾝ ｴﾗｰ> ｽｷｬﾝ ｼﾞｮｳｹﾝ ｴﾗｰ	ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）が不足しているため、画像を保存することができません。 解像度を下げてファイルサイズを小さくするか、ファイルサーバのハードディスク空き容量（仮想記憶領域）を増やしてください。目安として、カラー・A3・600dpi で 210MB 以上、カラー・A3・1200dpi で 840MB 以上の空き容量が必要です。

パスワードを忘れた時の対処方法

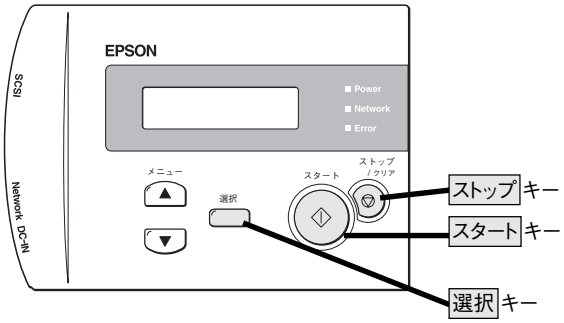
Webブラウザユーティリティ／EPSON Server Scan Agentのパスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB1を工場出荷時設定に戻す必要があります。

工場出荷時設定への戻し方

1 ESNSB1 の電源をオフにします。

2 パネルに <ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ> と表示されるまで 選択 キーと スタート キーと ストップ キーを押し続けながら、ESNSB1 の電源をオンにします。

〈ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ〉



<ｲﾆｼｬﾗｲｽﾞ ｼﾃｲﾏｽ> と表示されたら、キーから指を放してください。
これで工場出荷時設定に戻りました。

3 イニシャライズが終了すると、<IPｱﾄﾞﾚｽ ｾｯﾃｲ> 画面が表示されます。

ネットワーク設定をやり直す必要がありますので、31ページを参照して設定してください。

ソフトウェアの再インストール

何らかの原因でソフトウェアの動作が不安定になっている場合は、次の手順で再インストールしてください。

ソフトウェアの削除

ソフトウェアを再インストールする前に、現在インストールされているソフトウェアを、アンインストールプログラムを使用して削除（アンインストール）してください。

- EPSON TWAIN xx Networkの再インストール方法については、スキャナに付属のネットワークガイドをご覧ください。
- EPSON Scan Editor を削除すると、EPSON Scan Editor でのユーザースキャンフォルダの設定は削除されます（フォルダ自体は削除されません）。
- Windows NT/2000/XPの場合は、管理者の権限でログオンしておいてください。

1 **アンインストーラを起動します。**

EPSON Server Scan Agent を削除する場合：
［スタート］ー［プログラム］ー［EPSON Server Scan Agent］ー［EPSON Server Scan Agent アンインストール］の順にクリックします。

EPSON Scan Editor を削除する場合：
［スタート］ー［プログラム］ー［EPSON Scan Editor］ー［EPSON Scan Editor アンインストール］の順にクリックします。

2 **この後は、画面の指示に従って削除してください。**

削除が終了したら、コンピュータを再起動してソフトウェアを再インストールしてください。

EPSON Server Scan Agent ..... 63 ページ
EPSON Scan Editor ..... 65 ページ

最新のソフトウェア入手方法

ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページにより最新版の提供を行う予定です。

ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

インターネット

エプソン販売のホームページアドレスは次の通りです。
http://www.i-love-epson.co.jp

インターネット経由でのダウンロード*1・解凍*2・インストール方法については、ホームページに記載されていますので、そちらをご覧ください。なお、インストールする前に、110 ページを参照して旧バージョンのソフトウェアを削除してください。

*1 ダウンロード：パソコン通信やインターネット上に登録されているデータを、ネットワーク通信を介して自分のコンピュータに保存することです。
*2 解凍：ダウンロードしたファイルは圧縮（複数のファイルをまとめて、データ容量を小さくすること）されています。解凍とは、圧縮されているデータを元のファイルに復元することです。

CD-ROM での郵送

エプソンディスクサービスで承っております。郵便局へ実費をお振り込みいただくと、郵送にてお送りいたします。
申込方法の詳細はエプソン FAX インフォメーションでご確認ください。FAX インフォメーションの番号は裏表紙にあります。

サポートのご案内

エプソンが行っている各種サービス、サポートは次のとおりです。

エプソンFAXインフォメーション

エプソン製品に関する最新情報をファックスでお知らせします。
ファックス付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。
ファックス番号は裏表紙にあります。

エプソンインフォメーションセンター

エプソン製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。
電話番号および受付時間については、裏表紙をご覧ください。

インターネットサービス

エプソン製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。
これは次のメリットがあります。

- ソフトウェアをバージョンアップする際は、エプソン販売のホームページによる提供を行う予定です。インターネットからダウンロードすれば、迅速にバージョンアップが行えます。

  ソフトウェアのバージョンアップ時期は未定です。

- エプソン販売のホームページには、FAQ（製品に関するQ&A）が掲載されています。トラブルの際にお役に立ちます。

ホームページのアドレス

エプソン販売　　：http://www.i-love-epson.co.jp

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。
でも分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。
エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。ぜひお気軽にご参加ください。
お問い合わせは本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスのご案内

故障かな?と思ったときは、慌てずに、まず取扱説明書中の［困ったときは］をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないかを必ずご確認ください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の［保証期間］を証明するものです。［お買い上げ年月日］［販売店名］に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。
保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

■お買い求めいただいた販売店

■エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
電話番号および受付時間については、裏表紙の一覧表をご覧ください。

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合せてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンフィールドセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	・製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 ・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 ・定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
	持込保守	・製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。 ・修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。 ・持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		・お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 ・故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	有償（出張料のみ）	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください
持込／送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預かりして修理いたします。	無償	基本料＋技術料＋部品代 修理完了品をお届けしたときにお支払いください
ドアtoドアサービス		・指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 ・保証期間外の場合は、ドアtoドアサービス料金とは別に修理代金が必要となります。	有償（ドアtoドアサービス料金のみ）	有償（ドアtoドアサービス料金＋修理代）

付録

ここでは、次の内容について説明しています。

- arp コマンドでの IP アドレス設定 P.116
- Web ブラウザでのネットワーク設定 P.119
- パネル上でのネットワーク設定確認方法 P.127
- インストールによって登録される内容 P.129
- 基本仕様 P.130
- 用語解説 P.131
- 索引 P.137

arp コマンドでの IP アドレス設定

Windows（3.1/NT3.51を除く）にTCP/IPが正常に組み込まれている場合は、arpコマンドでIPアドレスを設定することができます。
arpコマンドは、ESNSB1と同じセグメント内のPCでのみ実行できます。

ポイント

- arpコマンドで設定できるのはIPアドレスだけです。サブネットマスクとゲートウェイアドレスは設定できません。
  サブネットマスクとゲートウェイアドレスも設定する場合は、操作パネルから設定してください（31 ページ参照）。
- ESNSB1のIPアドレスは、他のネットワーク機器や、既に使用されているIPアドレスと重複しないようにしてください。
- ここでは、ESNSB1 のIP アドレスを 192.168.100.201（プライベートアドレス）に設定する場合を例に説明します。

1 スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

2 arp コマンドを実行する PC で、ゲートウェイアドレスを設定します。

手順については、スキャナに付属のネットワークガイド［TCP/IP 設定］を参考にしてください。

- ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを設定します。
- ゲートウェイがない場合は、arpコマンドを実行するPCのIPアドレスをゲートウェイアドレスとして設定します。
- ゲートウェイアドレスが分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 ［スタート］－［プログラム］－［MS-DOS プロンプト］の順にクリックし、MS-DOS プロンプトを起動します。

4 最寄りの動作中PCまたはルータがあれば、それらに対してpingコマンドを実行します。

書式） ping_IP アドレス（_ は半角スペース）

例） IP アドレス 192.168.100.101 の PC がある場合：
＞ ping_192.168.100.101

ping コマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.101：bytes=32 Time<10ms TTL=255” というメッセージが表示されます（Timeなどの値は変動します）。

5 arpコマンドを実行して、ESNSB1に設定するIPアドレスをESNSB1のMACアドレスに関連付けます。

使用する OS によってコマンドの記述が異なります。詳細はお使いの OS の取扱説明書をご覧ください。

ESNSB1のMACアドレスは、ESNSB1の底面に貼られているシールで確認できます。

書式） arp_-s_ESNSB1 に設定する IP アドレス _ESNSB1 の MAC アドレス
（_ は半角スペース）

例） ＞ arp_-s_192.168.100.201_00-00-48-93-00-00（MAC アドレスは例）

このコマンドにより IP アドレスの情報が送られて、ESNSB1 が IP アドレスを認識します。

6 ESNSB1 の電源を一度オフにしてから、再度オンにします。

電源再投入後、設定した IP アドレスが有効になります。

7 ESNSB1が起動して<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ>と表示されたら、次のコマンドを実行してIPアドレスが正しく設定されたことを確認します。

書式） ping_ESNSB1のIPアドレス（_は半角スペース）

例） ping_192.168.100.201

pingコマンドが成功すると、“Reply From 192.168.100.201:bytes=32 time<10ms TTL=255”というメッセージが表示されます（Timeの値は変動します）。
ここで表示されたIPアドレスが192.168.100.201であることを確認します。
これでIPアドレス設定は終了です。

Web ブラウザでのネットワーク設定

一度設定したESNSB1のネットワーク設定を変更する場合は、ESNSB1の操作パネルのほかに、Webブラウザからも行うことができます。
また、サーバスキャン時の任意用紙サイズを設定する場合は、Webブラウザから行います。

ポイント

- Webブラウザユーティリティからの設定では、ESNSB1 が内蔵しているプログラム［EpsonNet WebAssist］を呼び出します。EpsonNet WebAssist は、ESNSB1 に IP アドレスを設定後、使用可能になります。
- お使いのコンピュータ（Windows または Macintosh）に、Internet Explorer 4.0以降、Netscape Navigator 3.02以降またはNetscape Communicator 4.0 以降の Web ブラウザをインストールしておいてください。
- Webブラウザで、前もってESNSB1のIPアドレスに対してプロキシを使用しない設定にしておいてください。
- Web ブラウザでの設定が終了するまで、ESNSB1 の電源をオフにしたり、ネットワークスキャンまたはサーバスキャンを実行しないでください。

1 **スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。**

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1 の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、AC アダプタを接続してください。
ESNSB1 のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

2 **Webブラウザを起動して次の書式で URL を入力し、［Enter］キーを押します。**

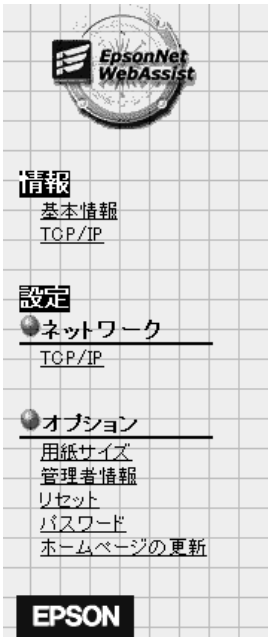
書式） http://ESNSB1 の IP アドレス /
例） http://192.168.100.201/ （IP アドレスは例です）

EpsonNet WebAssist の説明

インデックス

項目	説明
Home	オープニング画面を表示します。
Help	ヘルプを表示します。
レビジョン情報	EpsonNet WebAssist のレビジョン情報を表示します。
EPSON へ	EPSON のホームページ “i love epson” にリンクします。
Favorite	［管理者情報］で設定されたリンク先を表示します。

メニューと設定手順



設定手順：

1. 下表を参照し、これから設定する項目をメニューから選びます（クリックします）。
2. 下表の参照先に従って設定します。
3. ［送信］ボタンをクリックします。

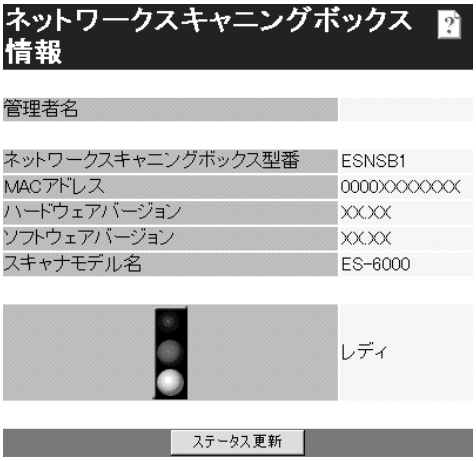
［設定は正常に更新されました!］という画面が表示された場合は、［今すぐリセット］ボタンをクリックしてください。これで設定が有効になります。

［設定は正常に更新されました!］という画面が表示されなかった場合は、設定ーオプションーリセットをクリックし、表示される画面で［リセット］ボタンをクリックします。または、ESNSB1の電源を再投入してください。

項目		説明	参照先
情報	基本情報	ESNSB1の基本情報や、スキャナの状態を表示します。	P.121
	TCP/IP	TCP/IPの情報を表示します。	P.122
設定ーネットワーク	TCP/IP	TCP/IPを設定します。	P.122
設定ーオプション	用紙サイズ	サーバスキャン時の任意用紙サイズを設定します。	P.123
	管理者情報	管理者名や、よく使うURLへのリンクを設定します。	P.125
	リセット	ネットワーク設定を有効にします。 また、工場出荷時設定に戻すことができます。	P.125
	パスワード	ネットワーク設定を保護するために、パスワードを設定します。	P.126
	ホームページの更新	EpsonNet WebAssistを更新します。 通常は使用しません。	P.126
EPSONロゴ		EPSONのホームページ“i love epson”にリンクします。	ー

基本情報

ここでは、ESNSB1の情報と、スキャナの状態を確認できます。



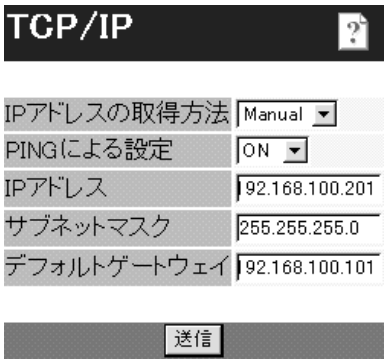
項目	説明
管理者名	管理者名が設定されている場合に表示されます。
ネットワークスキャニングボックス型番	ESNSB1 と表示されます。
MAC アドレス	ESNSB1 の MAC アドレスが表示されます。
ハードウェアバージョン	ESNSB1 のバージョンが表示されます。
ソフトウェアバージョン	
スキャナモデル名	接続されているスキャナ名が表示されます。
信号	接続されているスキャナの状態が表示されます。 緑：使用可能 黄：使用中 赤：使用不可（エラー発生中） ※スキャナの状態は、自動的には更新されません。現在の状態を知りたい場合は、[ステータス更新]ボタンをクリックしてください。
［ステータス更新］ボタン	最新の情報に更新します。

TCP/IP

設定ーネットワークーTCP/IPの場合：
IPアドレスの取得方法や、各種アドレスを設定できます。

情報ーTCP/IPの場合：
IPアドレスの取得方法や、各種アドレスなどの情報が表示されます。

下表は設定画面の説明です。情報画面では、これらの設定が表示されます。



項目	説明
IPアドレスの取得方法	IPアドレスの取得方法を選択します。 Manual： この画面や操作パネルで、個別に設定する場合に選択します。 RARP/BOOTP/DHCP： RARP/BOOTP/DHCPサーバから自動取得する場合に選択します。これらのサーバがない場合は選択しないでください。また、設定に関してはサーバの取扱説明書をご覧ください。
PINGによる設定	IPアドレスを、ネットワーク上のPCからarp/pingコマンドにより設定する場合は、ONのままにしておきます。arp/pingコマンドによる設定を不可にしたい場合は、OFFに設定します。
IPアドレス	ESNSB1のIPアドレスを入力します*。ほかのネットワーク機器やPCで既に使用されているアドレスと重複しない値に設定してください。
サブネットマスク	サブネットマスクを入力します*。 初期値は255.255.255.0です。
デフォルトゲートウェイ	ゲートウェイになるサーバやルータがある場合に、サーバやルータのアドレスを入力します*。 ゲートウェイがない場合は、初期値（255.255.255.255）のままにしておいてください。
［送信］ボタン	ESNSB1に設定を送信します。

* ピリオド（.）を含めて入力します。1桁または2桁の数値が含まれる場合は、192.168.1.22のように入力してください。
間違えてカンマ（,）を入力しないようご注意ください。

用紙サイズ

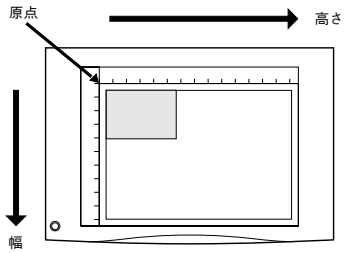
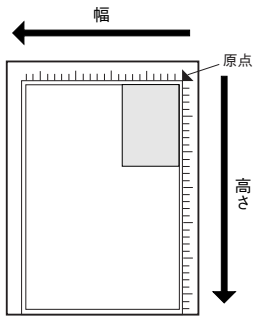
サーバスキャンで、EPSON Scan Editorのリストに表示されないサイズの原稿を使用する場合は、ここで原稿のサイズを登録します。最大 10 種類登録できます。
ただし、この設定は原稿台から取り込む場合のみ有効です。ADF から取り込む場合は無効ですのでご注意ください。

注意

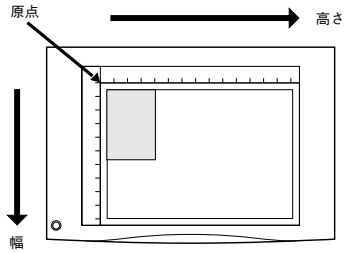
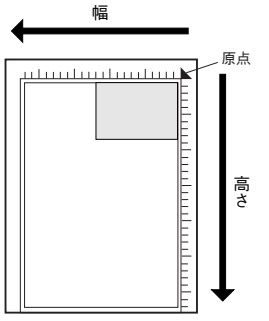
項目		説明
［有効］チェックボックス		チェックすると、右側の設定が有効になります。
表示名	用紙選択	あらかじめ、L 判写真、ハガキおよび名刺のサイズが定義されています。これらを取り込む場合は、ここから選択してください。縦横の向きについては、次ページの図をご覧ください。他のサイズを設定する場合は、ユーザ定義を選びます。
	パネル表示	ESNSB1 のパネルに表示する用紙名を、半角英数カナ 16 文字以内で入力します。*
用紙サイズ		次ページの図を参照し、用紙の幅と高さを入力します。単位は cm またはインチです。*
単位		用紙サイズの単位を、cm またはインチから選びます。通常は cm のままにしておいてください。
［変更を元に戻す］ボタン		［送信］ボタンを押す前であれば、変更前の状態に戻すことができます。送信した後では元に戻せません。
［ユーザプロファイル設定用紙優先］チェックボックス		チェックすると、ESNSB1の操作パネルで用紙サイズを選ぶ際に、ここで設定されている用紙サイズが最初に表示されます。
［送信］ボタン		ESNSB1 に設定を送信します。
［用紙サイズを工場出荷時に戻す］ボタン		用紙サイズの設定を、工場出荷時の状態に戻します。

* 用紙選択項目で、写真 L x、ハガキ x または名刺 x を選択した場合は、自動的に設定されますので入力は不要です。

＜写真 L 縦・ハガキ 縦・名刺 縦の向き＞

A3 スキャナの場合	A4 スキャナの場合
	

＜写真 L 横・ハガキ 横・名刺 横の向き＞

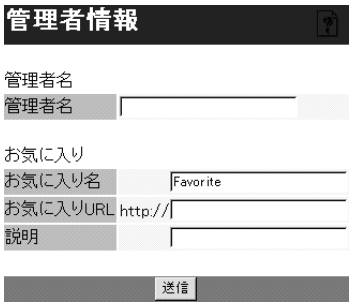
A3 スキャナの場合	A4 スキャナの場合
	

幅　：入力できる範囲は2.0～32.9cmまでですが、スキャナによって（主走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

高さ：入力できる範囲は2.0～48.3cmまでですが、スキャナによって（副走査方向の）取り込み領域が異なりますので、スキャナの取扱説明書でご確認ください。

管理者情報

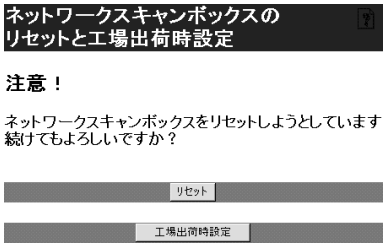
ESNSB1の管理者名を設定できます。また、よく使う任意のURLを設定すると、インデックスの［Favorite（名前は変更可能）］からリンクすることができます。
パスワードを設定した場合は、パスワードの入力が必要です。



項目	説明
管理者名	ESNSB1の管理者名を、半角英数128文字以内または全角64文字以内で入力します。
お気に入り名	リンク先名称を、半角英数20文字以内または全角10文字以内で入力します。
お気に入りURL	リンク先のURLを半角英数64文字以内で入力します。ftp:へのリンクはできません。
説明	リンク先の説明を、半角英数64文字以内または全角32文字以内で入力します。入力した内容は、本画面でのみ表示されます。
［送信］ボタン	ESNSB1に設定を送信します。

リセットと工場出荷時設定

ネットワーク設定を有効にします。また、工場出荷時設定に戻すことができます。
終了のメッセージが表示されたら、更新は終了です。



項目	説明
［リセット］ボタン	ネットワーク設定を有効にします。各設定の終了画面で［今すぐリセット］をクリックするか、ESNSB1の電源を再投入した場合は、ここでのリセットは不要です。
［工場出荷時設定］ボタン	すべてのネットワーク設定を工場出荷時設定に戻します。ボタンをクリックした時点で工場出荷時設定に戻りますのでご注意ください。

パスワード

ネットワーク設定を保護するための、パスワードを設定できます。ここで設定したパスワードは、設定画面を開く時や、設定を保存する時に使います。
工場出荷時、パスワードは何も設定されていません。

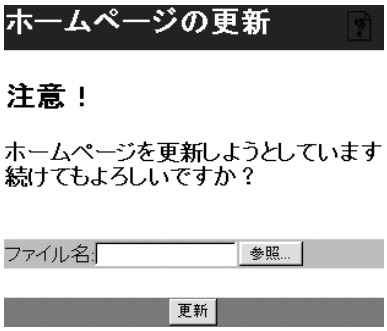
項目	説明	
旧パスワード	旧パスワードを入力します。	半角英数 20 文字以内で入力します。大文字・小文字が区別されます。入力中の文字列（パスワード）は、＊で表示されます。
新パスワード	新パスワードを入力します。	
パスワードの再入力	新パスワードを再入力します。	
［送信］ボタン	ESNSB1 に設定を送信します。	

ポイント

パスワードを忘れてしまった場合は、ESNSB1を手動で工場出荷時設定に戻す必要がありますのでご注意ください。
工場出荷時設定に戻す方法は、109 ページで説明しています。

ホームページの更新

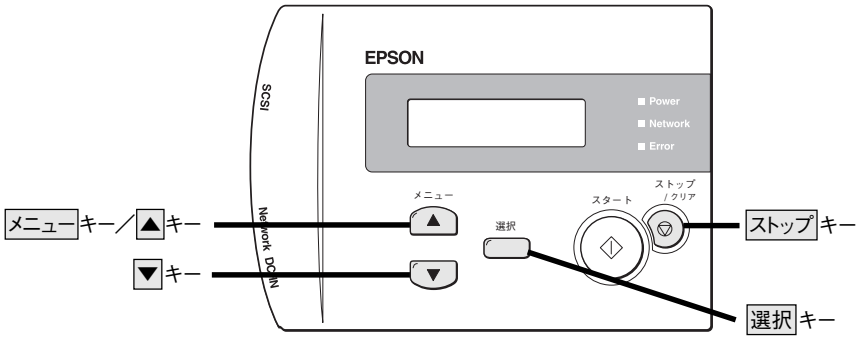
通常、ここでの設定は不要です。



項目	説明
ファイル名	［参照］ボタンをクリックし、付属のソフトウェアCD-ROM内の［indexj.pac］ファイルを選択します。
［更新］ボタン	指定したファイルでホームページ（EpsonNet WebAssist）を更新します。

パネル上でのネットワーク設定確認方法

ESNSB1のパネル上で、IPアドレスなどの設定情報を確認することができます。



❶ スキャナの電源がオフになっている場合は、オンにします。

電源連動切替スイッチが上側に設定されていれば、ESNSB1の電源も連動してオンになります。 下側に設定してある場合は、ACアダプタを接続してください。
ESNSB1のパネルに <ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ> と表示されれば、準備完了です。

❷ メニューキーを2回押し、LCDパネルに右のように表示させます。

<メニュー センタク>
ジョウホウ ヒョウジ ?

❸ 選択キーを押します。

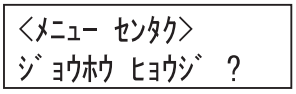
右の画面（IPアドレス設定）が表示されます。
以降、次のキーを押すごとに、表示される情報が切り替わります。

<IPｱﾄﾞﾚｽ>
XXX. XXX. XXX. XXX

▼キー／▲キーで表示切替	選択キーで表示切替	表示される情報
IP アドレス		IP アドレス
サブネットマスク		サブネットマスク
ゲートウェイ		ゲートウェイアドレス
IP 取得情報	RARP	OFF ／ ON
	BOOTP	OFF ／ ON
	DHCP	OFF ／ ON
	AUTO IP	ON ／ OFF
Ethernet モード		AUTO ／ 10BASE-T ／ 100BASE-TX
サーバー IP アドレス		ServerScan PC の IP アドレス

4 情報を確認したら、ストップキーを押します。

右の画面に戻ります。もう一度ストップキーを押し、<ｽｷｬﾅ ﾚﾃﾞｨ>画面を表示させてください。



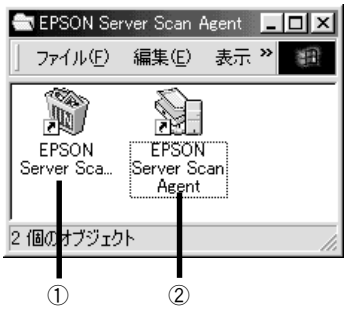
インストールによって登録される内容

EPSON Server Scan Agent

■［EPSON Server Scan Agent］グループ

①EPSON Server Scan Agentアンインストール
EPSON Server Scan Agentを削除するためのユーティリティです（110ページ参照）。

②EPSON Server Scan Agent
EPSON Server Scan Agentです（68ページ参照）。



■スタートアップ

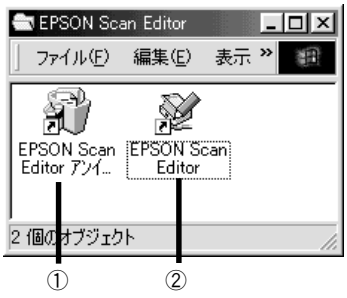
64ページ ❹ の右側の画面で はい を選んだ場合は、EPSON Server Scan AgentがWindowsのスタートアップに登録されます。

EPSON Scan Editor

■［EPSON Scan Editor］グループ

①EPSON Scan Editorアンインストール
EPSON Scan Editorを削除するためのユーティリティです（110ページ参照）。

②EPSON Scan Editor
EPSON Scan Editorです（82ページ参照）。



基本仕様

仕様、外観は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ハードウェア基本仕様

外形寸法	幅 155mm ×奥行 110mm ×高さ 27mm
重量	500g
インターフェイス	ネットワーク： 10BASE-T/100BASE-TX（自動切替）
	スキャナ　： SCSI（50 ピン高密度ピンタイプ）
	SCSI ID：7 固定
	ターミネータ内蔵（ON）
	本製品とスキャナは必ず 1 対 1 で接続し、同一 SCSI バス上に他のSCSI機器を接続（デイジーチェーン）しないこと。
対応スキャナ	EPSON　ES シリーズのスキャナ

電源仕様

電源電圧	3.4VDC　± 5% 以内（AC アダプタから供給）
消費電流	最大 0.7A 以内

適合規格

耐電磁障害	VCCI　クラス B

耐電気ノイズ

静電気	パネル部：10kV　　金属部：7kV（150pF、150 Ω）

環境条件

温度	動作時：5 ～ 35℃
	保存時：－ 25 ～ 60℃
湿度	動作時：10 ～ 80%（結露なきこと）
	保存時：10 ～ 80%（結露なきこと）

使用条件

塵埃	一般事務所、一般家庭程度
	異常にほこりの多いところは避けること
照度	直射日光があたる場所、光源の近くは避けること

用語解説

英数字

Ⓐ **API：**

Application Program Interfaceの略で、アプリケーションソフトとコンピュータ（OS）の仲立ちをするもの。汎用性のあるAPIを定めることによって、周辺装置のインターフェイスが容易に使えるようになる。TWAINとは、スキャナを制御するためのAPIの規格。

ARP：

Address Resolution Protocolの略で、TCP/IPプロトコル群に属するアドレス解決プロトコルのこと。ホストのIPアドレスからMACアドレスを検索する時に用いる。相手のホストが保持しているIPアドレスとMACアドレスの対応法を変更する場合にも使う。
→ TCP/IP、プロトコル、IPアドレス、MACアドレス

Ⓑ **bit：**

binary digit（2進数）の略。コンピュータが扱うデータの最小単位で、0か1で表す。8bitで0～255の数値を表すことができる。

BOOTP：

BOOTstrap Protocolの略。BOOTPサーバからIPアドレスやホスト名、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどの情報を取得する仕組みのこと。
→ IPアドレス、ホスト名、サブネットマスク、ゲートウェイ

Ⓓ **DHCP：**

DHCPはDynamic Host Configuration Protocol（動的ホスト構成プロトコル）の略。クライアントPCの起動時に、DHCPサーバが自動的にIPアドレスとその関連情報を割り当てる仕組み。
→ TCP/IP、クライアント

DNS：

Domain Name Systemの略で、ネットワーク上のドメイン名と、そのIPアドレスとの対応付けを行う仕組みのこと。IPアドレスは4桁の8bit単位での数値のため、人間にとっては覚えにくい。そこで、人間が覚えやすいような名前（ドメイン名）との対応を保存しておき、必要に応じてドメイン名からIPアドレスへの変換を行う。変換を行うサーバをDNSサーバという。
→ IPアドレス、bit

Ⓔ Ethernet（イーサネット）：

コンピュータやワークステーションなどで使われるネットワーク方式のこと。もっとも広く普及している方式。
通信速度は10Mbpsまたは100Mbps。接続ケーブルには、10BASE-T、10BASE-2などがある。
→ 10BASE/100BASE

Ⓗ HUB（ハブ）：

10BASE-T/100BASE-TXのケーブルを束ねるための、ネットワークの接続装置。
10BASE-T/100BASE-TXでは、各コンピュータを直接接続するのではなく、ハブを介してスター状に接続するため、クライアントPCの移動や増設の際に、ネットワークを停止する必要がない。
→ 10BASE/100BASE、クライアント

Ⓘ IPアドレス：

IPはInternet Protocolの略。TCP/IPプロトコルによるネットワークで使われるアドレス（識別子）で、これによりネットワーク上でコンピュータを特定する。
IPアドレスは数字の羅列（192.168.100.200など）なので、インターネットの世界では、通常は分かりやすい名称（ホスト名）を使用する。
→ TCP/IP、ホスト名

> IPアドレスは、外部との接続（インターネットへの接続・電子メールなど）を行う際には、日本ネットワークインフォメーションセンター：JPNIC（http://www.nic.ad.jp/index-j.html）に申請を行って正式に取得していただく必要がありますので、システム管理者にご相談ください。
> なお、IPアドレスを使用するにあたって、外部との接続を将来的にも一切行なわないという条件のもとに、下記の範囲のプライベートアドレスを使用できます。（RFC1918で規定されています）
> プライベートアドレス：
> 10.0.0.1 ～ 10.255.255.254
> 172.16.0.1 ～ 172.31.255.254
> 192.168.0.1 ～ 192.168.255.254

Ⓜ MACアドレス：

Media Access Controlアドレスの略で、ネットワーク機器に組み込まれている機器固有の物理アドレスのこと。

Ⓞ Open Transport：

MacOSのネットワーク環境モジュールのこと。Open Transportにより、他の形態のネットワークを利用することができる。

Ⓟ PDF：

Portable Document Formatの略。電子形式書類の一種で、Acrobat Readerと言う無料ソフトによって閲覧できる。

ping：

TCP/IPが実装されたコンピュータ間で送受信テストを行い、接続の確認に使用するコマンド。LAN環境もしくはコンピュータ自体の設定に障害が発生している場合、障害箇所を特定する際に、まずローカル・ホストに対してpingコマンドを実行し、正常にTCP/IPが実装されているか確認する。
→ TCP/IP

Ⓡ RARP：

Reverse Address Resolution Protocolの略。RARPサーバからIPアドレスを取得する仕組みのこと。
→ IPアドレス

Ⓢ SCSI（スカジー）：

Small Computer System Interfaceの略で、ハードディスク、スキャナなどの周辺機器をコンピュータに接続するためのインターフェイス規格。
ESNSB1とスキャナを接続する場合、他のSCSI機器を接続（デイジーチェーン）することはできない。

SCSI ID：

SCSI機器を区別するために設定する番号のこと。機器間でID番号が重複すると、正常な動作ができなくなる。

ターミネータ（terminator）：

終端抵抗。SCSIなどの接続において、信号が終端で反射し、戻ってくることを回避するために、終端に取り付けて信号電圧を安定させる電気抵抗のこと。

Ⓣ TCP/IP：

TCP/IPはTransmission Control Protocol/Internet Protocolの略。コンピュータ・ネットワーク内の通信で使用される、世界的な標準プロトコルのこと。
→ プロトコル

TWAIN（トウェイン）：

スキャナを制御するソフトウェアのための、アプリケーションインターフェイス（API）の規格。取り込みソフトウェア自体もTWAINと呼ばれる。
EPSON TWAIN xx Networkは、このTWAIN規格に対応しているので、各種TWAIN対応アプリケーションから画像を直接取り込むことができる。
→ API

❶ 10BASE/100BASE（テンベース／ヒャクベース）：

Ethernetの仕様で定められたケーブル接続の規格。10BASEでは、ツイストペアケーブル（より対線）を使う10BASE-Tが主流。
10BASEの機構をそのまま利用し、通信速度を100Mbpsに高めた規格を100BASE-TXと言う。
→ Ethernet

アイウエオ

㋕ 解像度（resolution）：

解像度には、［印刷解像度］と［画像解像度］と［表示解像度］などがある。

印刷解像度：

例えばカラーインクジェットプリンタでは、用紙にインクの粒を吹き付けて印刷（画像を表現）する。このインクの粒が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを［印刷解像度］といい、単位はdpi（dot per inch）で表す。インクの粒が多いほど、画像はより精細になるが、印刷に時間がかかる。

画像解像度：→ EPSON TWAIN xx Network および EPSON Scan Editor で設定する解像度

画像データ自体を構成する画素（点）が約25.4mm｛1インチ｝幅にいくつあるかを表すもので、単位は印刷解像度と同じく、dpi（dot per inch）で表す。画素数が多いほど画像はより精細になるが、データ量が多くなるため画像の取り込み／保存／読み込みなどに時間がかかり、また多くのメモリを必要とする。
取り込む画像の解像度は 50 ～数千 dpi まで設定可能だが、画像をプリンタで印刷する場合、画像解像度（出力機器の設定）を EPSON TWAIN xx Network の初期設定値以上に設定しても印刷品質は向上しない。

表示解像度：

画像をコンピュータのディスプレイに表示した時に、どのくらいの大きさで表示されるかを表したもので、単位はピクセル（またはドット）。ディスプレイ自体の表示能力を表すときも表示解像度を用いる。

ク　クライアント（Client）：

ネットワーク上でサーバの提供するサービスを受けるコンピュータのこと。クライアント PC ともいう。 クライアント PC を使用する人を、一般にユーザーという。

ケ　ゲートウェイ：

クライアントのアクセスを代行する代理サーバ。 企業では一般に社内 LAN とインターネットの間にゲートウェイ・サーバを設置し、社内LANからはゲートウェイ・サーバ経由でインターネットへアクセスする。異なるプロトコルのシステムやネットワークを相互に接続する。中継機能専用のコンピュータはルータと呼び、ゲートウェイとは区別する。
→ プロトコル

サ　サーバ（Sever）：

ネットワーク上でクライアントPCにさまざまなサービスを提供するコンピュータのこと。
サーバを管理する人を、ネットワーク管理者またはシステム管理者などという。

サブネットマスク：

TCP/IP ネットワークでは、同じネットワーク部を持ったコンピュータ同士が通信できる。従ってネットワーク部とホスト部とを区別する必要があり、その際に使用されるのがサブネットマスク。サブネットマスクは IP アドレス同様に 32bit からなり、クラス C では 24bit（255.255.255.0）が標準で使用される。
→ TCP/IP、IP アドレス、bit

セ　セグメント：

ネットワークの単位。各種接続機器を使ってセグメントを中継することで、ネットワークの規模が拡大される。

ネ　ネットワーク（Network）：

データなどを伝送する通信網のこと。 広域のネットワークをWAN（Wide Area Network）といい、同一建物内などのネットワークをLAN（Local Area Network）という。

ネットワーク管理者：

サーバ（ネットワーク）を管理する人のこと。 システム管理者などともいう。
→ サーバ

フ　プロトコル（Protocol）：

異なったシステム間、ソフトウェア間で情報通信を行う場合に必要とされる、通信上のルール / 約束事 / 規約のこと。接続の開始 / 終了から電子メールの形式まで、さまざまな規約を定めている。 語源は外交儀礼。

ホ　ホスト名（Host name）：

インターネットに接続されたコンピュータを特定する名称のこと。 インターネットでは、インターネット上のコンピュータに識別子（IPアドレス）を付けることでコンピュータを特定し、通信するが、IP アドレスは数字の羅列（192.168.100.200 など）のため、通常は分かりやすいホスト名（http://www.i-love-epson.co.jp など）を用いる。
なお、ホスト名を使用するには、DNS サービスが必要。
→ IP アドレス

メ　メモリ（memory）：

データを一時的に保存する部分。例えば、ソフトウェア自体はハードディスクに保存されているが、起動するとメモリに読み込まれ、ここでさまざまな処理が行われる。
ハードディスクは保存領域、メモリは作業領域といえる。
画像取り込みにもメモリを使用するため、メモリの容量が少ないと、データが収まらずにエラーが発生することがある。

ル　ルータ：

ゲートウェイを参照。

索引

英数字

Ⓐ ACアダプタ 29
ADF 74,87,96,107
arp 116
Ⓑ BOOTP 31,34,122
Ⓒ CS-3000 26,37
Ⓓ DHCP 31,34,122
Ⓔ EPSON Scan Editor
インストール 65
エラー 106
削除 110
プロファイルの作成 82
EPSON Server Scan Agent
インストール 63
エラー 105
起動モード 76
削除 110
新規設定 67
接続テスト 92
設定変更と削除 77
EPSON TWAIN xx Network
インストール 42
接続テスト 43
取り込み 44
レビジョン 16
Errorランプ 10,103
Ethernet設定 31,34
Ⓗ HUB 15,20,35
Ⓘ IntranetWare 20,57
IPX 20,55
IPアドレス 31,43,68,116,122
Ⓜ MACアドレス 117,121
Ⓝ NetWareサーバ 56,57
Networkランプ 10,103
Novell Client 55
NWADMIN 57
Ⓟ ping 104,117,122
Powerランプ 10
Ⓡ RARP 31,34,122
Ⓢ SCSI 27
ServerScan PC 19,63,91
SYSCON 56
Ⓣ TCP/IP設定 42,122
Ⓦ Webブラウザでの設定 119
10BASE/100BASE 15,20

アイウエオ

ア アクセス権 50
アンインストール 110
イ イメージタイプ 86
インストール
EPSON Scan Editor 65
EPSON Server Scan Agent 63
EPSON TWAIN xx Network 42
Novell Client 55
エ エラー
EPSON Scan Editor 106
EPSON Server Scan Agent ... 105
カ 解像度 22,88,96
画像データ容量 22
画像フォーマット 83
キ 共有ドライブ 59
共有フォルダ 49,59
コ 工場出荷時設定 109,125
サ 再インストール 110
削除 110
サーバスキャン
共有フォルダ 49,59
サーバスキャンした
データの開き方 98
サーバスキャンの実行 91
新規設定 67
設定の前に（NetWare） 53
設定の前に（Windows） 45
設定変更と削除 77
対応アプリケーション 98
トラブル 105
任意用紙サイズの登録 123
プロファイルの作成 82
ス スキャナホームフォルダ 49,59,69

セ セグメント 15,20
接続テスト
EPSON Server Scan Agent . 70,105
EPSON TWAIN xx Network 43
専用スキャナスタンド 37
ト 動作環境
EPSON Scan Editor 21
EPSON Server Scan Agent 21
対応スキャナ 15,20
ネットワーク環境 15,20
トラブル
ESNSB1本体 102
サーバスキャン 105
パスワードを忘れた時の対処 109
発生したら 100
ニ 任意用紙サイズ 123
ネ ネットワークスキャン 42,44
ネットワーク設定
Webブラウザでの設定 119
パネルでの情報確認 127
パネルでの設定 31
ネットワークソフトの組み込み 47
ハ パスワード 109,126
フ ファイル形式 86
ファイルサーバ
共有ドライブ 59
共有フォルダ 49,59
対応OS 20
ネットワーク設定 47
ユーザー登録 56
プロファイル 18,19,82
メ メモリ 21
ユ ユーザースキャンフォルダ 49,59,71
ユーザー登録 56,70
ヨ 用紙サイズ 87,94,123
容量 22
リ リセット 125
両面 74,96,107

電波障害自主規制について　ー注意ー

この装置は、情報処理装置等電波自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。(社団法人　電子情報技術産業協会（社団法人　日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会（社団法人　日本電子工業振興協会）のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんので、ご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製上のご注意

以下の行為は、法律により禁止されています。
・紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること
（見本印があっても不可）
・日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
・政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、官製はがきなどを複製すること
・政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
・民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
・パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について
書籍、絵画、版画、図面、写真などの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目的とする以外、著作権者の承認が必要です。